

2022
No.635

9

Ryugin Research Institute



経営 トップに聞く

新里酒造株式会社 代表取締役社長 新里 建二 氏

企業探訪

株式会社沖縄UKAMI 養蚕

特集1 沖縄の Society5.0 を考える

一般社団法人スマートインクルージョン推進機構 代表理事 竹村 和浩 氏に聞く

特集2 沖縄県内の市町村の将来推計人口(2022年7月推計)



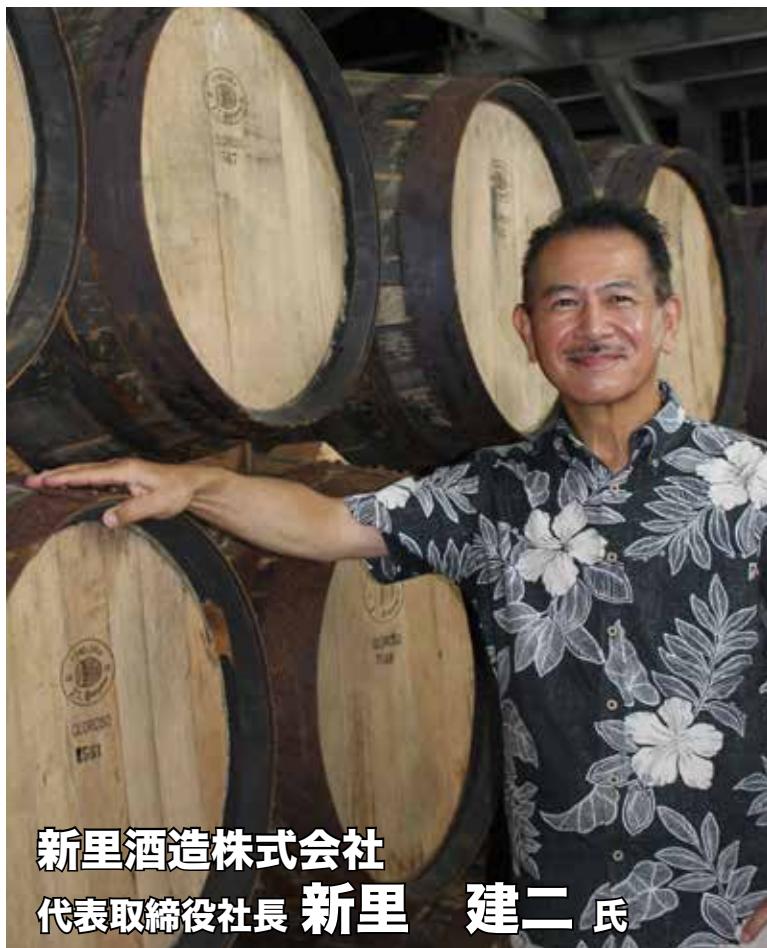
りゅうぎん総合研究所

琉球銀行グループ
BANK OF THE RYUKYUS GROUP

※目次(CONTENTS)の各タイトルをクリックするとそのページにジャンプします。
CONTENTS

経営トップに聞く 新里酒造株式会社	01
～泡盛文化を後世に引継ぎ、県民に愛される泡盛造りを進め新たな酒造りで世界に挑戦する～ 代表取締役社長 新里 建二 氏	
企業探訪 株式会社沖縄UKAMI 養蚕	06
～やんばるの自然豊かな環境で未来を紡ぐ 『農業(沖縄産エリ蚕の養蚕)×科学』で世界に挑むオンリーワンのモノづくり～ 代表取締役 仲宗根 豊一 氏	
特集1 沖縄の Society5.0 を考える	08
～一般社団法人スマートインクルージョン推進機構 代表理事 竹村 和浩氏に聞く～	
特集2 沖縄県内の市町村の将来推計人口(2022年7月推計)	15
りゅうぎん総合研究所 上席研究員 金城 敏	
新時代の教育研究を切り拓く	35
～イカの養殖システムの開発に成功～ 沖縄科学技術大学院大学コミュニケーション・広報ディビジョン メディアセクション (同大学のHP記事より許可を得て転載)	
県内大型プロジェクトの動向151	38
沖縄県の景気動向 (2022年7月)	40
～景気は、持ち直しの動きが強まる（上方修正）～	
学びバンク	52
・アンガーマネジメント ～よりよい関係築く技術～ 琉球銀行 営業推進部 調査役 波平 郁江	
・生物多様性 ～環境の「強靭さ」を表す～ 琉球銀行 総合企画部 サステナビリティ推進室 調査役 渡久地 政彦	
・ローカルベンチマーク ～企業「見える化」ツール～ 琉球銀行 法人事業部 主任 新田 耕太郎	
・株式市場の再編 ～企業価値上げ投資促す～ 琉球銀行 証券国際部 宇座 大貴	
経営情報 経済財政運営と改革の基本方針2022について	54
提供 太陽グランツソントン税理士法人	
経済日誌 2022年8月	55
県内の主要経済指標	56
県内の金融統計	58

**泡盛文化を後世に引き継ぎ
県民に愛される
泡盛造りを進め
新たな酒造りで
世界に挑戦する**



**新里酒造株式会社
代表取締役社長 新里 建二 氏**

新里酒造 株式会社

新里酒造株式会社は琉球王朝時代に酒造りが許されていた首里三箇の1つであり、現存する泡盛の酒造所では最古の蔵元といわれる歴史ある会社である。老舗泡盛メーカーとして「かりゆし」「琉球」などの人気商品を製造しているなか、2020年4月にウィスキーの製造免許を取得。メイドインオキナワのウィスキーを製造すべく新たな挑戦をスターとさせている。今回はうるま市州崎の工場へ新里社長をお訪ねし、創業経緯、経営理念、社会貢献活動などについてお考えをお聞きした。また、2020年よりスタートさせたウィスキー製造の新事業についても挑戦進める想いについても詳しく伺った。

インタビューとレポート 新垣 貴史

御社の設立経緯についてお聞かせください。

当社は、1846年（弘化3年）、琉球王朝時代に酒造りが許されていた首里三箇の1つ、赤田町で初代、新里蒲によって創業されました。現存する沖縄の酒造所としては、創業176年を迎える最古の蔵元となります。

その後1924年には首里から那覇市若狭に移転、沖縄戦を経て1953年に那覇市牧志に

て事業を再開、1988年には、沖縄市古謝の本社所在地に移転し現在に至っています。

新里酒造の強みは何であると考えていらっしゃいますか。

泡盛の伝統と技を守りつつ、機械化などを積極的に導入し、安全・安心で高品質な泡盛造りをしていることが当社の強みではないかと感じ



ています。当社では2006年4月にコンピュータによる仕込みタンクの導入で細やかな温度管理が可能となり、生産能力は飛躍的に向上しました。また、同年にISO9001認証を取得、HACCPの衛生管理システムに基づいた高品質な泡盛造りを行っています。

このような取り組みもあって、県内コンビニエンスストア大手よりコーヒー泡盛カップのPB製造委託を受けています。このPB製品は県民はもちろん、観光客にも人気商品でお土産としてケース買いをする方もいるほどです。

また、県外大手アルコール製造メーカーからの泡盛のOEM受託業務も行っています。県外大手メーカーは製品の品質などに関して求めてくるハードルが非常に高く、それを1つ1つクリアするために新しい設備を導入するなど苦労しましたが、当社の衛生面に配慮した生産ライン、システムを評価していただき受託生産を受けるに至っています。

このような衛生管理を徹底し、安全・安心な

生産技術こそが当社の強みではないかと思っています。

新里酒造の前代表が1989年に新しい酵母の開発に成功されたとお聞きしました。

実は現在、県内の泡盛造りで広く使われている酵母（泡盛101号酵母）は、当社の6代目の代表者である新里修一氏によって発見、開発に成功したものです。彼は沖縄国税事務所の鑑定官であり酵母の研究者でもありました。彼が長年の研究の末、酵母の中に60億分の1の割合で存在する「泡無し酵母」を分離することに成功したのです。

この泡無し酵母が発見されたおかげで、泡盛を仕込む際に行わなければならない煩雑な泡の管理が不要になり、仕込み量を増やすことに繋がっています。現在、この泡無し酵母「泡盛101号酵母」は酒造組合で管理されており、多くの県内酒造会社が使用していることは、当社の誇りであると感じています。



泡盛業界全体の課題はどのように考えていらっしゃいますか。

泡盛出荷量が過去最高を記録した2004年以降17年連続で前年割れを続けていることです。2001年のNHK朝の連続テレビ小説「ちゅらさん」をきっかけとして沖縄ブームが起き、泡盛も出荷量が大きく伸びました。その後は酒造組合や沖縄県が中心となり県外での販促キャンペーンなどを積極的に行ってきましたが、残念ながら17年連続の前年割れという厳しい結果となっています。

一方で沖縄県内では、泡盛の周知やPR活動について業界でも力をいれることはほとんどなく、地元である沖縄でも泡盛離れが進んでしまったのではないかと感じています。

泡盛は、地元のお酒ではありますが、沖縄県民は泡盛を飲むのは当たり前ではないはずです。やはり私は、原点回帰というか、改めて沖縄県民に愛される酒造りに力を入れていきたいと考えています。そして特に若者に泡盛を好き

になっていただけのような取り組みを業界全体で行っていく必要があるのではないかと感じています。

もっと若者に対してもウチナーンチュのアイデンティティに訴えかけるようなプロモーション活動などを強化していくべきではないのでしょうか。

経営理念、社是を教えてください。

経営理念は、①地域と共に生きる、②お客様第一主義に徹する、③会社の発展と社員の幸福を一致させる、この3つの言葉を掲げています。社是は「和釀良酒」。この言葉は、良い和をもって醸すという意味です。つまり酒造りに携わる人の和の精神によって良い酒は生まれているのだ、ということです。実際に酒造りを行っている杜氏だけではなく、製造や販売すべての当社の社員の気持ちを1つにし、良い酒造りを今後も続けていきたいと感じています。



社会貢献活動についてお考えをお聞かせください。

毎朝、工場内、工場周辺の清掃活動を継続して行っています。清掃を通じて地域の方々が気持ちよく朝を迎えるようにと続けている社会貢献活動です。

もう1点は、新型コロナウイルス感染症の2020年春から夏にかけての拡大期に、国からの要請もあり泡盛を使った高濃度のアルコール消毒液を製造し、沖縄市、うるま市などに寄贈しました。当時は、家庭用、医療用を含めて消毒用アルコールが不足しており、医療施設などを含めて多くの感謝の言葉を多くいただきました。今後も地域活動を含めて当社で何か協力できることがあれば積極的に協力していきたいと思っています。

新事業を開始したとお聞きしています。

今後、成長が見込まれる新事業として2020年4月、ウイスキー製造免許を取得し、同年

5月より製造を開始しています。そして2020年12月に発売したのがウイスキー「新里」です。2種類のスコットランド産のウイスキーと当社の櫻樽貯蔵の泡盛古酒をブレンドしています。最近の少量生産のクラフトウイスキーブームもあり人気商品の1つとなっており、おすすめの飲み方はハイボールです。

もう1点が2021年12月に発売したウイスキー「金康（かねこう）」です。この商品は輸出を前提に、かつ欧州などの飲食店向けに製造された製品です。2021年5月に製造を開始しており、日本で3年熟成させることで「ジャパニーズウイスキー」として国内外で販売することができるようになります。欧州をはじめアジアの富裕層を中心にジャパニーズウイスキーは非常に人気があり、今後、生産を伸ばしていくと考えています。もちろん当社は泡盛メーカーですので泡盛が主力事業であるということには変わりありませんが、いずれ当社の事業の柱の1つとして成長してくれることを目指

企業概要



商 号：新里酒造株式会社

本 社：沖縄市古謝 3-22-8

連 絡 先：TEL 098-939-5050

FAX 098-939-6549

創 業：1846年（弘化3年）

役 員：代表取締役 新里 建二

取締役部長 新里尚也

取締役部長 金城盛雄

従 業 員 数：28名

U R L：<http://www.shinzato-shuzo.co.jp>

事 業：酒造業（泡盛、ウイスキー、リキュール、スピリット）

工 場：うるま市州崎 12-17

いただくためには、泡盛の選択肢の一つとして原材料はすべて県産品である酒をぜひ造りあげたいと考えています。

当社は176年の歴史ある県内最古の蔵元として泡盛文化を次の世代へしっかりと引き継がなければならぬ使命のようなものがあると感じています。琉球王朝以来の伝統と技を引き継いだ泡盛メーカーとして守らなければならない文化もあると思いますが、その上で変化を恐れず、新たな挑戦も積極的にやっていきたいと考えています。メイドインオキナワのウイスキー、リキュール、スピリットなどのお酒についても今後、積極的に開発していく予定です。今後とも新里酒造の酒造り、新たな挑戦にもご期待ください。引き続き新里酒造をどうぞよろしくお願ひいたします。

し頑張っていきたいと思っています。

最後に

今、チャレンジすると決めて進めているプロジェクトが、米、麹などを含めて原材料をすべて県産品にする泡盛造りです。今まででは、どうしてもお米に関してはタイ米（長粒米）を使用していました。現在、伊是名村でタイ米（長粒米）の栽培を進めており、この伊是名産米を使用し、県産の麹を含めすべて県産の食材を使用しこの泡盛を製造する準備を進めています。

きっかけは、フランスなど、ワインなどが人気の欧州などでは“テロワール”という考え方があります（その土地の気候や土壌、地形を活かしたブドウを栽培し、その土地の美味しいワインを製造すること）。現状として沖縄県産の琉球泡盛といつても原材料のお米は輸入されたタイ米（長粒米）となると、欧米の方からすると、強い違和感があるようです。

今後、泡盛を世界中の方々に愛され評価して

企業探訪 Vol. 6

株式会社沖縄UKAM I 養蚕

やんばるの自然豊かな環境で未来を紡ぐ『農業（沖縄産エリ蚕の養蚕）×科学』で世界に挑むオンリーワンのモノづくり。



代表取締役 仲宗根 豊一 氏

事業概要

- 代表取締役 仲宗根 豊一
- 住所 (本社) 今帰仁村字平敷 267 番地1・D号室
(研究所) うるま市字州崎 5 番8
沖縄ライフサイエンス研究センター 124号
- T e l 0980-56-3367
- H P <https://www.ukami.co.jp>

株式会社沖縄UKAM I 養蚕は2013年4月に今帰仁村にて活動を開始した。養蚕、繭（＝シルク）を原料とする製品の研究開発並びに製品の製造販売会社である。2018年には、オリジナルブランド「VILANJE（ヴィランジェ）」を立ち上げ、自社養蚕の沖縄シルクを独自の技術でパウダー化に成功。そのシルクパウダーを配合したスキンケア用品を発売した。その他にも繭（＝シルク）の副産物であるサナギを原材料としたモノづくりの可能性に着目し、創薬、医療、ヘルスケア等に関する研究を大学や研究機関と共同で進めている。今回はうるま市の研究拠点を訪ねお話を伺った。

エリ蚕の可能性に惹かれ活動開始

仲宗根代表は国内大手化粧品メーカーに勤務し、シルクを化粧品の材料として使用するプロジェクトに従事していた。その業務の一環で、「日本野蚕学会」という野蚕（ヤサン）の研究に関する情報交換をする学会に所属していた。

ある時、同学会の会長に「日本本土にはいない、亜熱帯地域にのみ生息するエリ蚕（エリサ

ン）という蚕がいて、その研究を日本で唯一の亜熱帯気候である沖縄で一緒にやってみませんか」という誘いを受ける。国内では沖縄でしか養蚕できないエリ蚕の可能性と、生まれ故郷である沖縄の産業と科学振興の発展に貢献できる可能性を強く感じ、大手化粧品メーカーを退職。沖縄北部地域における調査活動を経て2013年に、この株式会社沖縄UKAM I 養蚕での活動を開始した。

エリ蚕（エリサン）の特徴とは

エリ蚕は、本土での一般的な蚕と仲間ではあるものの独特的な生態をもっている。一般的な蚕は、桑の葉を食して成長していくが、このエリ蚕はキャッサバの葉を食べる。ご存知の方も多いかもしれないがキャッサバとはブームとなつたタピオカビーズの原材料となるタピオカ芋を作る植物だ。

また特徴としてエリ蚕の繭（＝シルク）は一般的な繭（＝シルク）と比較すると短く、纖維にするのは向きだという。

しかし、沖縄産のエリ蚕繭（＝エリシルク）は多孔質（ナチュラル・ナノポーラス）といわれる微細な空洞のある構造となっており、人の肌の水分・油分量を整える作用があり、さらに18種類のアミノ酸が豊富に含まれ、人間の肌と親和性が高く、うるおいと透明感のある肌に導くという。

現在、国内某大手百貨店や県内であればイーアス沖縄豊崎で販売を開始しており、多くの方



エリ蚕



百貨店での販売風景（東京、名古屋）



UKAMI 琉球夏草®



エリ蚕の餌となるキャッサバ（葉）を圃場にて栽培



障がい者就業支援事業所メンバーによる仕分け作業



子供向け科学体験学習(かがくのミ・ラ・イ)

に好評を得ているようだ。また、某大手百貨店を通じて越境 EC（中国、シンガポール）での販売も開始しており、今後の展開が期待されている。

「当社以外にもシルクを配合したスキンケア商品はあるが、当社との違いのひとつは製品トレーサビリティ（作り手の顔が見える）が当社では担保されていること」と仲宗根社長は語る。確かに、どこで生産されたシルクか分からぬ商品を肌に塗るのは抵抗があるはずだ。

同社のエリ蚕は、自然豊かな今帰仁村で栽培されたキャッサバの葉を餌として育ち、同村の高齢者や就労支援事業所のメンバーによって分別作業や加工が行われている。メイドインオキナワの良質なシルクであり、さらに県内の雇用にも貢献しているのだ。

創薬、医療など新たな可能性を秘める

現在、大学や研究機関では、繭（＝シルク）を非繊維分野である創薬、医療分野でも活用する研究が進んでいるという。「当社ではエリ蚕のサナギを用いた機能性食品素材となるUKAMI 琉球夏草®（ウカミリュウキュウカソウ）や、動物用ワクチン、診断薬、抗原検査キットの研究開発を大学等研究機関と進めている」と仲宗根社長は教えてくれた。

「蚕は人類よりも先に地球に誕生したと言われており、5千年もの長い間、人間と蚕は共存しています。しかし、まだまだ蚕には未知の部分があり創薬や医療など、様々な分野で可能性を

秘めている」と仲宗根社長は力強く語る。

多くの県民、子供たちにエリ蚕の魅力を発信

最後に、これから目標について質問してみると意外な答えが返ってきた。「たくさんの沖縄の子供たちにエリ蚕の魅力や可能性を知ってもらうこと」「本業の養蚕、商品の研究開発や製造販売も大切ですが、エリ蚕の魅力を伝えることも重要な業務だと考えています」と仲宗根社長は語る。「夏休みには県立図書館でエリ蚕を用いた体験学習を開催することもあります」「ゆくゆくは、私が開催した体験学習がきっかけで、エリ蚕をはじめ、やんばる（沖縄北部）やこの地域にしか生息しない多様な生物に興味を持ち、生き物が持つデザインを社会に役立てる研究に取り組む子供が出てきてほしい。そして大きな成果を見出して、沖縄初のノーベル賞受賞、これが私の目標であり夢でもあります」と仲宗根社長は笑顔で語る。

国内では、沖縄でしか養蚕されていないエリ蚕という蚕がおり、沖縄県産の良質なシルクが製造されていることに驚かされた。また、新たな創薬や科学技術研究で昆虫の活用が世界的に進んできていることを知った。

今回は古めかしくも新しい沖縄産エリ蚕の可能性を強く感じた企業探訪となった。今後も沖縄UKAMI 養蚕の取り組みに注目していくたい。（レポート 新垣 貴史）



特集「沖縄の Society5.0 を考える」
スマートインクルージョン推進機構 代表理事
竹村 和浩氏に聞く

日本全国が抱える社会課題。それは、増加する社会コストを減少する生産力でどう補うかという問題である。その社会課題に対し、ICTを最大限に活用して社会的課題解決と経済的発展を両立させ、快適で活力に満ちた質の高い生活の実現を目指すとするのが "Society5.0" で描く社会である。沖縄県は新たな振興計画の中でその概念を取り入れ、地域課題の解決に取り組むとしている。本稿では「沖縄の Society5.0 を考える」と題して各分野の専門家に話を伺い、この島で暮らす人々が生き活きと生活できる「人間中心社会の実現」を目指すためのヒントを模索する。第9回目は、「スマートインクルージョン」というコンセプトを持ち、テクノロジーを活用して障がいを持つ人々も安心・安全に暮らせる豊かな社会を目指す、「一般社団法人スマートインクルージョン推進機構」代表理事の竹村和浩氏に話を伺う。

竹村氏は、「スマートインクルージョン」の推進者であるが、一般的には「ビジネス英語トレーニングのエキスパート」として著名だ。ご自身のプロフィールをお聞かせいただきたい。

本業は、研修を専門とした「株式会社ユニバーサル・エデュケーション」という法人の代表取締役を務めています。

元々は東京都立高校で6年間英語の教員をしていましたが、実践で英語を使いたいと思い、「公文教育研究会」の海外派遣要員に応募

し採用していただきました。

その後、発音を専門とした教育をやりたいと強く思い、1995年に独立して「TLL言語研究所」を設立しました。発音を矯正すると英語が聞き取りやすくなるので、発音を中心とした英語トレーニングを外資系企業メインにグローバル人材育成の研修をしています。

ネットでお名前を検索するとビジネス英会話の著書が並んでいる。

お陰様で好評です。特に「世界基準のビジネス英会話：交渉戦略×英語」「重要交渉戦略15パターン」という交渉2部作が人気ですね。私の仕事は「日本人の弱いところを補強する」ことだと思っています。英語発音もそうですが、グローバルの場での「交渉」についてもです。日本人は世界的に高い技術を持っているにも関わらず、最終的には交渉でその機会を逃してしまう、またはグローバルでの市場を失っているということが多々見られます。その点をなんとかサポートしたいという思いからこのような本を出版しています。先ほども申し上げた通り、本業は英語のプロコーチとして、グローバルの場で英語を活用して活躍したい方々を陰でサポートするのが仕事です。お名前を出していいところで紹介すると、家電やデジタル技術の見本市で、毎年米国ラスベガスで開催されている「CES2017（コンシューマー・エレクトロニクス・ショー2017）」の場で、本田技研工業の松本常務（当時）が行った「自立型バイクのプレス発表」での英語プレゼン指導を担当させていただきました。ご本人が多忙のため「指導を5時間で仕上げてほしい」とのこと、そのような短時間ではとても無理だと思い、最初はお断りしました。しかしご本人の強いご希望もあり、こちらの指示を全て受けていただくことを条件に担当させていただきました。さすが、本田技研工業の役員でいらっしゃるだけあり、原稿を一晩で丸暗記し、プレゼンの場もしっかりこなされていました。あとは、NTTグループの「外国人投資家向けプレゼン」での社長専属英語コーチであったり、目黒の陸上自衛隊幹部学校で、新たな幹部候補生向けに発音指導を行ったりしてきました。さらに、アメリカ映画会社「ワーナー・ブラザース」の日本法人GMの専属コーチを7年間行ったり、楽天やユニクロなどの「社内英語公用化」時には、私のビジネス英語と発音をご採用いただいたりしています。

大前研一氏の「BBT大学」にも関わっていらっしゃる。

正式には「ビジネス・ブレイクスルー（BBT）大学」と申しますが、2005年に千代田区に本部を置く「株式会社立大学」です。文部科学省から認可を受けた、日本初のオンライン専門の大学院大学で、リアルの講義をやると認可が取り消されるという異色の大学です。その特徴から、コロナ禍でもほぼ影響を受けず、正常に学校運営ができます。そこで、「ビジネス英語」「発音」「文法」を担当しています。

数ある英語関連の著書の中で唯一「英語に関係のない本」が『スマートインクルージョンという発想』だ。「スマートインクルージョン」とはどのようなものかをお教えいただきたい。

「スマートインクルージョン」とは「スマート」と「インクルージョン」という二つの言葉を組み合わせた造語です。「スマート」は「賢い」などの意味がありますが、最近では「スマートデバイス」や「スマートホーム」に代表されるように「IT化した」の意味も含まれます。「インクルージョン」は日本語で「包摂（ほうせつ）」や「包含」と訳されますが、これまで一般的に馴染みのない言葉でした。最近では、ESGやSDGsの文脈で「ダイバーシティ&インクルージョン（多様性と包摂）」という表現で目にする機会も増えましたが、元々は1980年代にアメリカで「障がい児教育」の分野で注目された理念で、それまでの「統合教育」を超える考え方として普及した言葉です。日本では、主として障がいを持つ子どもたちが通常学級で共に学ぶ「インクルーシブ教育」の考え方を指して使われています。要するに、障がいがあろうとなかろうと、全ての人が安心安全に暮らせる社会のあり方を表す概念が「インクルージョン」という言葉です。従って、「スマートインクルージョン」とは、テクノロジーの力でインクルージョンを実現することを意味します。

「スマートインクルージョン」の取り組みには、いくつかのキーワードがあります。ひとつ目は、障がい児者の「親亡き後」という問題です。私には娘が二人います。次女を21

年前に授かりましたが、その時に「ダウン症」と告知を受けました。身体的な特徴が顕著なので医師も早くわかるため告知が早いのです。出産後に私だけ別室に呼ばれ、医師から「申し上げにくいことだが、お子様は障がいをお持ちになっている。染色体検査をしなければならないが、おそらくダウン症である」「ご主人に任せるが、奥様にはまだ言わない方がいい」と言われました。それまで、私は障がいについて全く理解がなく、ダウン症が何かもわかつていませんでした。正直、すぐには理解が出来ず、何かよくわからないが大変なことが起きたのだと、胸が重くなりました。退院時に医師から妻にも告知がされましたが、その時に頭をよぎったのは「この子を残して死ねない」ということでした。なぜなら、ダウン症を持つ子には知的障がいがありますし、社会経済性もないでひとりで食べていくことは困難です。そのため「私たちが死んだらこの子は生きていけるのだろうか」という思いがよぎるわけです。これは、障がいを持つ子の親全てに共通の悩み・課題です。そこで私は、この課題をテクノロジーによって解決できないかと考えています。それが「スマートインクルージョン」という発想に行き着いた理由です。そして、そこから二つ目のキーワード、障がい者は「高齢者の先駆者」という考え方たどり着きます。

障がい者をケアするテクノロジーを開発するメリットとは何か。それは単に、障がいを持つ本人やその家族だけのものかといえば、決してそうではありません。ご承知の通り、日本は世界的に少子化・超高齢社会のフロンティランナーです。シンガポールや中国などが続いているますが、先進国で真っ先に日本がその現象を経験します。これまで人類が経験したことのない社会形態に、私たちがどのような社会課題を解決していくかを考えた場合、高齢になると身体機能の衰えが出て、何らかの「障がい」を持つ人口が増えて行くことが想定されます。

確かに、「老眼」や「難聴」などを身体的障が

いと捉えることができる。

私自身もすでに老眼鏡をかけなければモノが見えません。また、家族と一緒にテレビを見ていると「お父さん、音量がうるさい」と言われたりします。これは聴覚の衰えですね。さらに足腰も弱くなっています、筋力を鍛えないといつてこの先「車椅子」を使用することもあるかもしれません。高齢化することは、いざなは視覚であれ聴覚であれ「障がい」を持つということです。認知症になれば、「知的障がい」を持つことになります。そう考えれば、現在の社会生活すでに障がいを持つ方々がいらっしゃるわけで、超高齢社会で生じる社会課題はすでにその方々がわかっているはずです。実際に、全国で約800万人が障がい手帳を持っていると言われています。その方々に課題を聞いて、どのようなソリューションがあれば安心安全に社会生活を営めるか、そのことがイコール「超高齢社会下の社会課題解決策」になると考えられるわけです。つまりは「障がい者は高齢者の先駆者」であるということです。このことは私たちが設立した「スマートインクルージョン推進機構」のモットーになっています。

障がい者向けのソリューション開発の話をするときに、よく民間企業の方々に「市場が小さく儲からない」と言われますが、人口減少が顕著で、今いる人口が確実に高齢化していくことを考えた場合、果たしてその意見が正しいか疑問です。

そして、三つ目のキーワードが「イノベーション」です。Society5.0に示される社会を実現する際に「必須」と言われる技術にAIやIoTがありますが、それらの技術と障がい者のニーズを組み合わせることでイノベーションが生まれる可能性が高いです。障がい者のニーズは、個々の障がいの区別はあったとしても極めて明確です。それこそが人口減少フェーズにおける「社会の自動化」という課題を解決する手段そのものだと考えます。

その観点で言えば、超高齢社会の課題に対するソリューションを考える機会を増やす意味

でも、障がいを持つ方々をあらゆる社会集団に組み込んだ方がいいということか。

「障がい」の定義の変化について説明させてください。「障がい」の考え方は、世界的に従来の「医学モデル」から「社会モデル」へと大きく変化しています。どういうことかと申しますと、1980年に国連で採択された「国際障がい者年行動計画」において、「障がい」という言葉を「Impairment」から「Disability」に変えるという転換が行われました。「Impairment」という言葉は「欠損がある」という意味であまりいい言葉ではありません。この言葉の意味するところは「障がいというのは障がいを持つ人自身にある」という考え方です。一見「当たり前」のように聞こえますが、それを本人ではなく「(障がいは) 障がい者を受け入れない社会の方にある」とする考え方方が「Disability」です。これにより「障がい」の定義が従来と180度違う考え方方に変わったということです。東京大学の先端技術研究センターに熊谷晋一郎氏という先生がいらっしゃいます。熊谷氏は生まれつき小児麻痺をお持ちでお一人では生活ができない状態ですが、東京大学の医学部を卒業して小児科医になりました。この方は『リハビリの夜』という本を書いていますが、その著書の中で健常者に近づくために、幼少期から非常に厳しいリハビリを体験したことを書き綴っています。彼にとってこの定義の転換は「自分にとって夜が明ける瞬間だ」と言わせるほどのインパクトがあります。障がいは社会の側にあるのだから、社会から障がいを取り除く。スマートインクルージョンの立場で言えば、AIやIoTなどのテクノロジーの力で取り除くことができれば、障がいを持っている方も積極的に社会参加が可能になる。人口減少フェーズにあっても、今まで参加できなかつた方々が経済活動に参画する可能性が高まるのではないかという考え方です。これまでには「障がい者 / 健常者」と二元論で語られていましたが、インクルージョンでは一元論です。これを実現するための規約が「国連世界障害者人権条約(UNCRPD)」になります。日本

も批准していますので、国内でインクルージョンを達成する義務を負っています。この規約では、教育への自由なアクセスや、就労機会の均等であることなどが謳われています。この素案を書いたのは、現在立命館大学の特任教授でいらっしゃる長瀬修氏という「日本人」です。これは私たち日本人にとって非常に誇らしいことです。長くなりましたが、このような理由により「超高齢社会の課題に対するソリューションを考える機会を増やす」ことも重要ですが、そもそもインクルージョンを達成する義務をすでに私たち日本人が負っていることをご理解いただきたいです。

2021年の「東京オリンピック・パラリンピック競技大会」開催前に、竹村氏は「東京五輪でインクルーシブ・スマートを日本から世界に」と提言されていた。また、その提言以降に元Google米国本社副社長の村上憲郎氏と共に、現在の「一般社団法人スマートインクルージョン推進機構」の前身である「スマート・インクルージョン研究会」を立ち上げている。提言の狙いと、村上氏と研究会を立ち上げた経緯についてお聞かせいただきたい。

アルゼンチンのブエノスアイレスで行われたIOC総会の場で、東京オリンピック招致委員会が最終プレゼンを行う模様がテレビで流れしており、そのプレゼンで選手村が中央区晴海地区にできると知りました。選手村のイメージ図を見たときに、ふと私の頭の中でスマートインクルージョンの考えが浮かびました。当時はロボティクスやIoTといった言葉はまだ主流ではなかったですが、日本の技術は確かにありました。例えば、ロボットは本田技研工業が世界初の「二足歩行ロボット」を開発していましたし、スーパーコンピューターも「富士」の開発が始まっていました。そもそもですが、日本の産業は優れているがゆえに、さまざまな会社が同時に同じ技術を開発していきます。それがコンペティター（競争相手）になってしまい、日本市場の中で競い合って、最後は価格競争になっていきます。上位企業は市場での優位性を持ちますが、下

位の企業が海外にアウトソースしてしまう。つまり日本市場で勝とうとした瞬間に、人件費を下げることで他社よりも安い製品を作り上げてしまいます。しかし、技術は人につくわけで、現地法人にそのまま勤めていてくれればいいですが、技術を学んだエンジニアが現地の会社に移ってしまえば、その途端に事実上「外国の技術」となってしまうわけです。すると技術を身につけた海外企業が日本よりも低価格・同品質の商品で日本市場に参入してくる。結果、日本で競い合っていたはずが、外国にその利益を奪われてしまうということを繰り返していました。そのようなこともあります。東京オリ・パラ招致の話を見た時に、まだその時点で事業化していない IoT や AIなどを 6 年後のオリンピックを目指して技術統合し、選手村を最先端のテクノロジーでもてなすショーケースにする。特にパラリンピック選手が快適に過ごせることで、日本からスマート・インクルージョンを発信でき、新しいオリンピックのレガシーが作られるのではないかと、一市民として考えた次第です。

しかし、そうは言っても私は AI や IoT の専門家ではありません。工業高校をでているので多少テクノロジーについては明るいですが、従事しているわけではありません。そこで色々と調べていたら、KIT（金沢工業大学）の大院が虎ノ門にあり、たまたまそこで AI などに関するセミナーが開催されることを知りました。そのセミナーに村上憲郎氏が登壇することでした。早速参加申し込みをし、セミナーを拝聴することができ、運よく村上氏と一緒に写真撮影も出来ました。その写真をたまたま共通の知人が見て、「来週サイエンスカフェで村上さんと会うが、竹村さんも来ますか?」と誘われ、村上ご夫妻と知人と私の 4 人で食事をすることになりました。その機会にスマートインクルージョンを東京オリパラで実現したいと村上氏に熱量を持って訴えたところ、非常に気に入っていました。そして、後日改めて帝国ホテルのラウンジでお話をしたら、「私にできることがあればお手伝いします」と言っていただき、そこから二

人で研究会を立ち上げ、活動を始めた次第です。

その後、村上氏の紹介で多くの企業を訪問しましたが、なかなか理解されませんでした。私自身、オリンピックの協賛企業全社を回りましたが、ほとんど相手にされませんでした。中には「金が欲しいのか」とまで言われたこともあります。非常に悔しい思いもしました。そういうことを繰り返しているうちに、私の心も折れ、村上氏に活動を続けられないと伝えました。すると村上氏に「それで娘さんに顔向けできますか?」と言われ、思わずハッとした気を取り戻すことが出来ました。もう一つ、私が諦めず続けることを決意した出来事があります。それは北海道札幌市で起きた 40 代の姉妹が遺体で発見されたというニュースです。当時 42 歳の姉が体調を崩して職を失い、3 回生活保護の相談をするが通らず、年末に脳内血腫で病死しました。重度の知的障がいを持つ妹は取り残され、ガスや電気も止められ凍死・餓死したという痛ましい出来事です。そのニュースを聞いて、とても他人事と思えませんでした。我が家もそうなる可能性があると思った瞬間に、この活動は続けなければならないと強く思いました。

2018 年に石川県加賀市で、実際にスマートインクルージョンを市政レベルで実現するプロジェクトがスタートしている。加賀市と関わった経緯についても教えていただきたい。

これもきっかけは村上氏繋がりです。

代々木上原で村上氏の誕生パーティーが開かれた時に、偶然そこにいらしたのが加賀市の宮元市長でした。宮元市長から私にお声がけくださったのですが、私を知るきっかけがフェイスブックとのことでした。リコメンド機能で私が出てきて、「石川県で英語のプロは珍しい」ということで覚えていたとのことでした。ご縁もあり加賀市でインバウンド向け英語セミナーの開催をさせていただきましたが、その時に当時出版したスマートインクルージョンの本を宮元市長に献本したところ、一週間後に連絡があり、「この取り組み、ぜひ加

賀市でやらせてほしい」とおっしゃっていたとき、ご一緒させていただくことになりました。ただ、当時はまだ研究会でしたので、行政としては相手方が法人でないと予算がつけられないとのことでしたので、この機会に「一般社団法人スマートインクルージョン推進機構」を設立した次第です。村上氏には名誉会長兼理事に就任していただき、一緒に活動していた多くのメンバーにも参画していただきました。



(加賀市：スマートインクルージョン推進宣言)

加賀市での取り組みでは、実際に障がいを持つ方からヒアリングなど行ったのか。

新型コロナ感染拡大前に、加賀市福祉課を通して、市内の全障がい者団体にお声掛けをして、役所前の集会室でほぼ全員にアンケートにお答えいただき、意見を集約しました。その中で、視覚障がいや聴覚障がいそれぞれに特徴的な社会的ニーズを確認しています。視覚障がいを持つ方々には、視覚情報を音など何らかの情報に転換して伝える必要がありますし、聴覚障がいを持つ方々には音声情報を視覚情報など同じく何らかの情報に転換して伝える必要があります。例えば、視覚障がいを

持つ方々には「スマート白杖」といった無線自動識別技術と振動や音声による情報伝達技術を組み合わせたツールを提供するとか、あるいは音声ガイダンス機能を持つツールなどを準備する必要があります。逆に、聴覚障がいを持つ方々には文字情報をいかに増やしていくか。例えば、筑波大学が開発した「シースルー・キャプションズ」といった、話した言葉をすぐに目の前の透明ボードに表示するような仕組みが必要になります。



See-Through Captions
(筑波大 Digital Future Group)

この透明なディスプレイパネルは「株式会社ジャパンディスプレイ」によって商品化されています。このツールは今後、スマートインクルージョンをスマートシティに実装していく際の鍵になる素材と私は考えています。例えば、大型のディスプレイが作られて家の壁面に使用されれば、エリア情報や災害情報等を表示させることも可能です。実際、災害時の町内アナウンスは聴覚障がい者には届きません。これを建築資材としてスマートホームに組み込むことで、スマートインクルージョンが実現出来ます。イメージは90年に公開されたアーノルド・シュワルツェネッガー主演の『トータル・リコール』に出てきた家です。壁自体がテレビであり、WEB会議システムであり、玄関モニターであり、伝言板等です。もちろん家だけでなく、行政窓口にも使えます。手話通訳者の人数は限られていますが、小型ディスプレイであれば、全ての窓口に配置することもできます。

これまでの活動で特に苦労されたこと、ぶつかった壁などがあればご教示いただきたい。

やはり予算です。システムを新たに構築するとなると、自治体の予算を超えてしまいます。そこで、予算を抑えるために既存システムとうまく連携できないかを模索しています。例えば、障がい者情報の一元化については、厚生労働省の MEIS（医療的ケア児等医療情報共有システム）と連携できないかなどです。政府システムを基盤として、私たちが利便性を向上させるための活動を行えば、お互いメリットがあると考えています。



(インクルーシブアイデアソン開催)

最後に、沖縄でスマートインクルージョンを進めていく上でアドバイスをいただきたい。

沖縄が持つ優位性をトータルで理解・共有することが大事だと思います。よく言われている島嶼地域であること、また人口規模が社会実装する上でのテストベッドとして程よいこと、そのことを地域に住む人たちがしっかりと共有すること。その上で「住んでよし」「訪れてよし」の観点でこの地域をどう活かしていくか、また基幹産業である「観光」をどのようにスマート化していくかを考えることが大事です。そのためにはビジョンが重要で、ビジョンには哲学が必要です。理想論と言ってもいい。私は英語教師ですので、よく英語に例えますが、英語はロジックです。欧米のように多様な人種に納得してもらうためにはロジックは重要です。まずは理想論があって、それに近づくため、全て解体してゼロから組み立てる。納得するまで激しくディベートす

る。まちづくりにスマートインクルージョンの考えを入れるのであれば、まずは行政が腹を括らなければなりません。ハードルは高いですが、住み良い地域を作るためには必要なプロセスです。

(インタビュー&レポート：志良堂猛史)



竹村和浩氏プロフィール

1961年、石川県金沢市生まれ。立教大学英米文学科卒業。「(株)ユニバーサル・エデュケーション」代表取締役、「ビジネス・ブレークスルー大学(BBT)」経営学部准教授、「公益財団法人日本ダウン症協会」国際担当、「アジア太平洋ダウン症連合(APDSF)」事務局長、「一般社団法人スマートインクルージョン推進機構」代表理事、などを歴任。大手企業でのグローバル研修等に携わり、日本人の英語力向上活動に従事する傍ら、2016年、元Google米国本社副社長であった村上憲郎氏と共に「スマート・インクルージョン研究会(当時)」を設立。誰もが安心・安全に暮らせる心豊かな社会の実現にテクノロジーを活用する活動を続けている。

特集 2

調査レポート「沖縄県内の市町村の将来推計人口(2022年7月推計)」



りゅうぎん総合研究所 上席研究員
金城毅

要旨

1. 将来推計人口の推計方法

当研究所では、コーホート要因法に基づき、2020年の国勢調査およびその後公表されている推計人口や人口動態調査、住民基本台帳人口移動報告などのデータを用いて、県内市町村の将来推計人口を推計してみた。市町村別の将来推計人口については、男女別、5歳階級別、5年毎の推計を行った。また、北部、中部、南部、宮古、八重山地域の地域別の将来推計人口は、市町村別の将来推計人口を該当する地域別に集計したものである。

2. 市町村別の将来推計人口

(人口の増減見通し)

県内41市町村のうち、2020年の人口が既に15年より減少している市町村は20市町村で、約半数が減少している。20年から25年にかけては大宜味村や恩納村、名護市、宜野座村、読谷村、北中城村、西原町、南城市、座間味村、宮古島市の10市町村が減少に転じる見通しである。また、25年から30年にかけては、うるま市、浦添市、糸満市、石垣市、与那国町の5市町が減少に転じる見通しである。さらに30年から35年にかけては、沖縄市、宜野湾市、八重瀬町の3市町が減少に転じ、35年から40年にかけては与那原町と豊見城市の2市町が減少に転じる見通しである。50年から55年にかけて南風原町と中城村が減少に転じることにより、県内全ての市町村が減少する見通しである。70年において人口が20年を上回っているのは、南風原町と中城村の2町村となり、この2町村以外は全て20年を下回っている。一方、20年比で最も下回っているのは粟国村で7割近く減少する見通しである。次いで多良間村、座間味村、伊江村、国頭村となっている。

(人口の構成比)

県人口に占める構成比をみると、70年で最も大きいのは那覇市で、次いで沖縄市、うるま市、浦添市、宜野湾市となる見通しであり、20年と同じ順位となっている。構成比の増減では、最も増加するのは南風原町で、次いで、うるま市、豊見城市、糸満市、沖縄市となっている。

1. 県内市町村の人口動態

(1) 2020年国勢調査による県内市町村の人口増減(15年比)

2020年の国勢調査によると、県内41市町村のうち人口が15年より減少している市町村は20市町村で、一部都市部の市町村を除くと、大方が離島と北部の自治体である。

※2020年の人口が15年より減少している市町村(20市町村)

那覇市、国頭村、東村、今帰仁村、本部町、金武町、伊江村、嘉手納町、北谷町、渡嘉敷村、粟国村、渡名喜村、南大東村、北大東村、伊平屋村、伊是名村、久米島町、多良間村、竹富町、与那国町

(2) 2010年～2022年6月の各市町村の人口動態(自然増減、社会増減)

(自然増減)

2010年以降の県内市町村の人口の自然増減をみると、高齢化に伴い大半の市町村で死亡数が増加傾向にある中で、10年代後半には出生数が減少しており、各市町村とも総じて自然増減は縮小傾向にある(図表1)。特に20年以降は新型コロナウイルスの感染拡大も影響していると推察される。

また、本島北部地域や離島においては、既に死亡者数が出生者数を上回っている状況がみられ、自然増減はマイナスで推移している自治

(年齢3区別人口の増減)

20年から70年までの人口の増減率を年齢3区別でみると、0～14歳人口の年少人口は全ての市町村で減少する見通しである。最も減少率が大きいのは渡嘉敷村で、次いで座間味村、粟国村、多良間村、伊江村となっている。また、15～64歳の生産年齢人口も全ての市町村で減少する見通しである。最も減少率が大きいのは渡嘉敷村で、次いで粟国村、伊江村、座間味村、多良間村となっている。一方、65歳以上の老人人口は23市町村で増加する見通しである。最も増加率が大きいのは中城村で、次いで南風原町、宜野湾市、豊見城市、沖縄市となっている。また、最も減少率が大きいのは渡名喜村で、次いで東村、粟国村、伊平屋村、多良間村となっている。

(年齢3区別人口の構成比)

各市町村の人口に占める年齢3区別人口の構成比について20年と70年を比較すると、0～14歳人口では、渡名喜村と東村が上昇するが、この2村以外は全て低下する見通しである。15～64歳人口では、竹富町と中城村、伊是名村が上昇するが、この3町村以外は全て低下する見通しである。一方、65歳以上人口では、渡嘉敷村と座間味村、伊江村など、38市町村で上昇する見通しである。低下するのは3村で、渡名喜村と東村、今帰仁村が低下する見通しである。

3. 県内地域別の将来推計人口

(地域別の将来推計人口)

地域別では、北部地域が20年の12万8,030人から70年には9万3,280人となる見通しである。また、南部地域と宮古地域は20年から25年には減少に転じ、南部地域は20年の70万6,970人から70年には56万550人となり、宮古地域は5万3,900人から4万6,220人となる見通しである。中部地域は25年から30年に減少に転じ、20年の52万5,380人から70年には44万4,570人となる見通しであり、30年には全ての地域が減少に転じる見通しである。八重山地域は、20年は5万3,190人から70年には4万3,780人となる見通しである。

体が多くみられる。

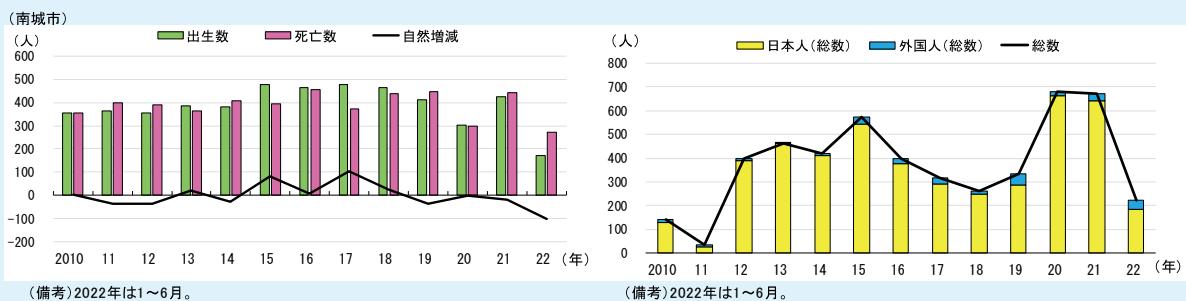
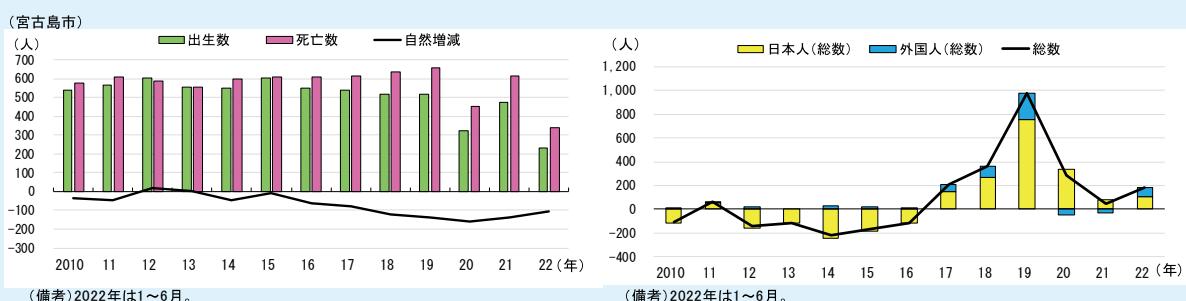
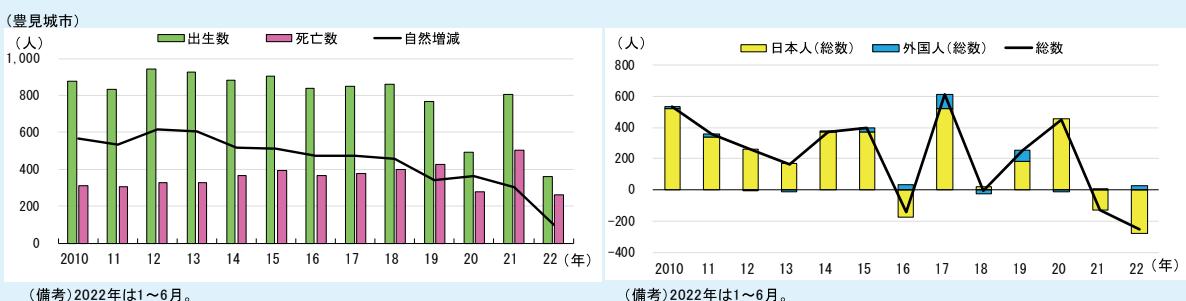
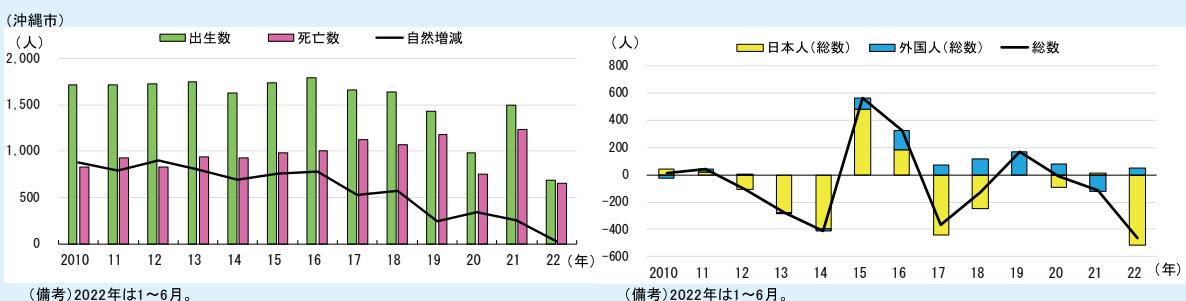
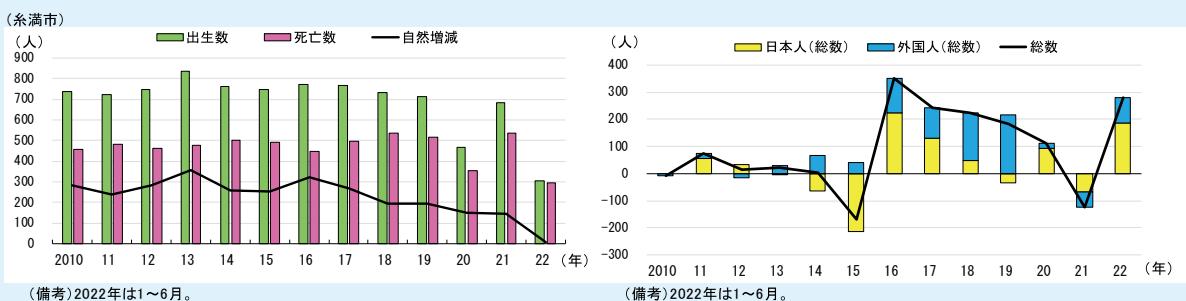
(社会増減)

2010年以降の県内市町村の人口の社会増減をみると、日本人については、うるま市や南城市、恩納村、宜野座村、中城村、北中城村、八重瀬町では増加基調で推移しているが、20年以降は減少しているケースもみられ、新型コロナウイルスの感染拡大が影響している可能性がある。また、これまで増加基調を続けてきた豊見城市と南風原町が21年以降、減少に転じているが、これも新型コロナウイルスの感染拡大による入国規制の影響から20年～21年にかけて減少に転じた市町村が多いが、22年(1～6月計)には増加に転じている自治体もみられる。なお、県都である那覇市は外国人が増加基調を続けてきたが、日本人の減少が大きく、社会増減は減少が続いている。一方、これまで社会増を続けてきた外国人は新型コロナウイルスの感染拡大による入国規制の影響から20年～21年にかけて減少に転じた市町村が多いが、22年(1～6月計)には増加に転じている自治体もみられる。ただし、22年(1～6月計)は外国人が増加に転じたことから減少幅は縮小している。

図表1 県内市町村の人口動態(自然増減、社会増減)



(続き:1)



(続き:2)



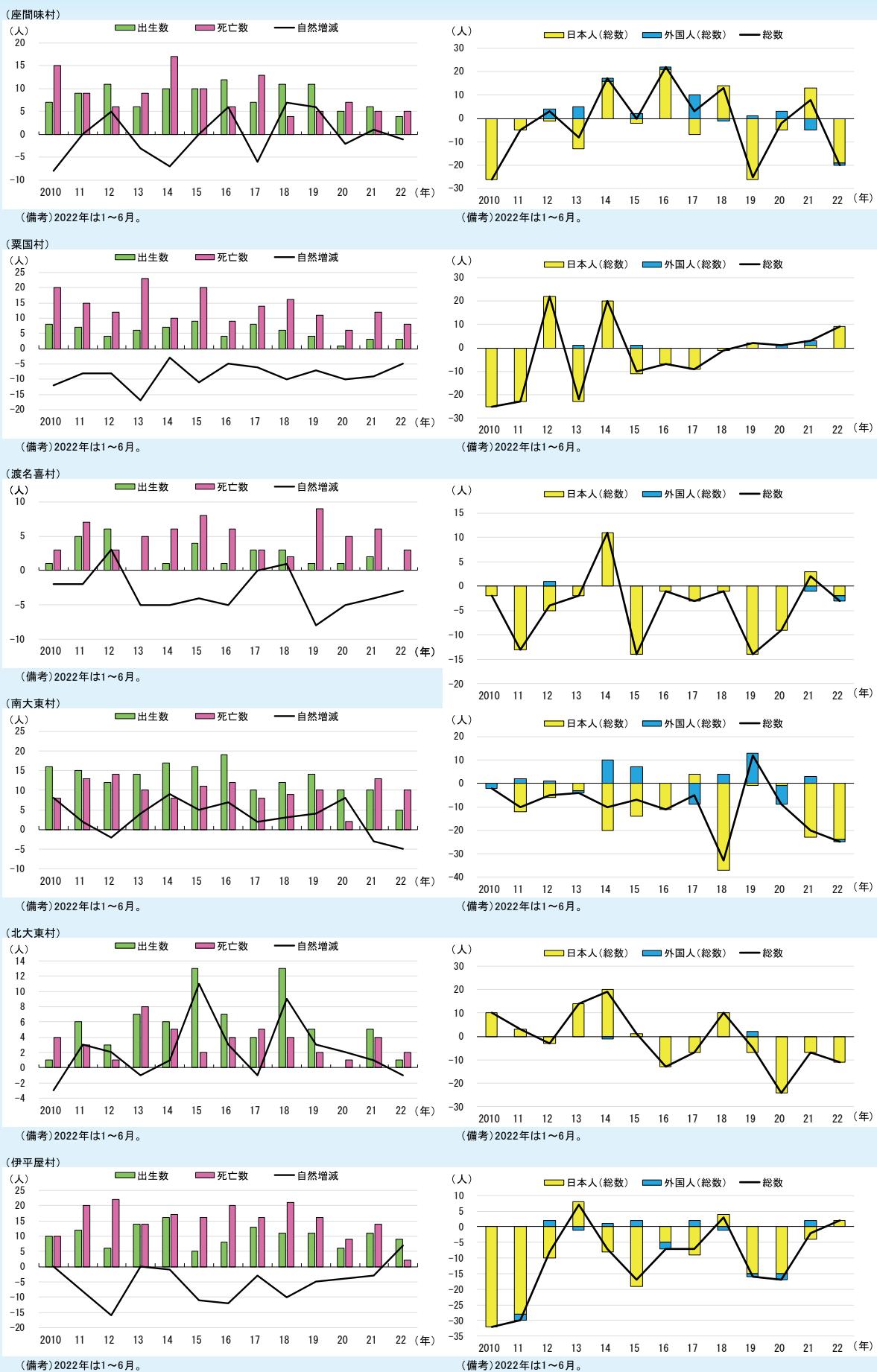
(続き:3)



(続き:4)



(続き:5)



(続き:6)



2. 将来推計人口の推計方法

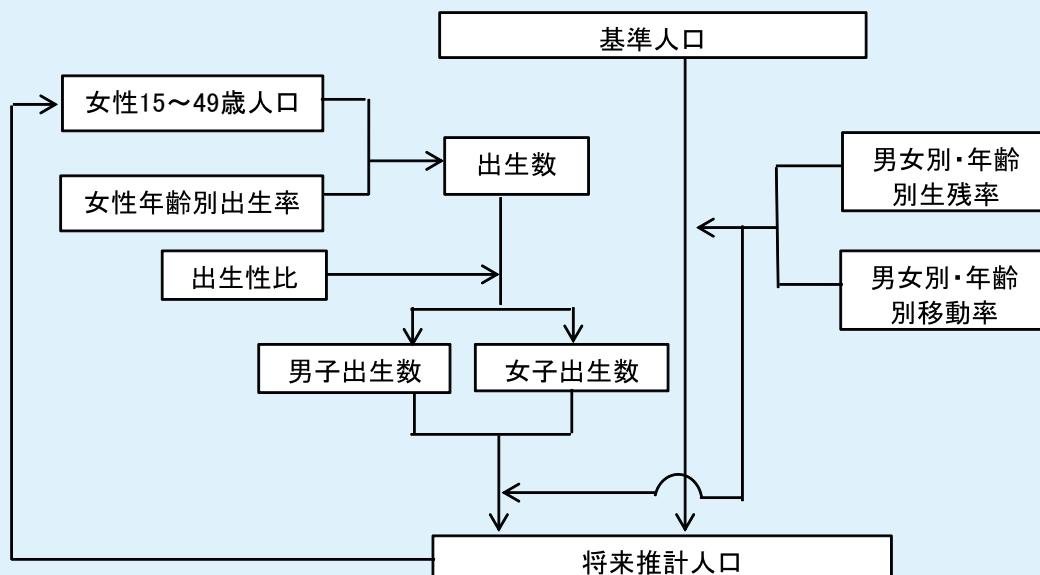
(1) 将来推計人口

我が国における公式な将来推計人口は、5年毎の国勢調査の公表後、国立社会保障・人口問題研究所によって推計、公表されている。将来推計人口とは、全国の将来の出生、死亡、国際人口移動(都道府県別については国内の他の都道府県への移動も含む)について仮定を設定し、コーホート要因法により、我が国の将来の人口規模ならびに男女・年齢構成の推移について推計を行ったものであり、出生や死亡を高位、中位、低位に仮定して複数の推計を行っている。

当研究所では、コーホート要因法に基づき、2020年の国勢調査およびその後公表されている推計人口や人口動態調査、住民基本台帳人口移動などのデータを用いて、県内市町村の将来推計人口を推計してみた。「コーホート」とは、同じ年(又は同じ期間)に生まれた人々の集團のことを指し、コーホート要因法とは、各コーホートについて「自然増減」(出生と死亡)及び「純移動」(転出入)という二つの「人口変動

要因」それぞれについて将来値を仮定し、それに基づいて将来人口を推計する方法である。計算手順は、基準年の各歳別の男女別人口に、各々「生残率+移動率」を乗じて翌年の1歳上の各歳別・男女別人口を推計する(図表2)。基準年の翌年の0歳人口は、基準年の翌年の再生産年齢人口である15~49歳の女性の各歳別人口に年齢別出生率を乗じて算出し、出生性比により男子、女子の0歳人口を計算する。これにより求められた基準年の翌年の各歳別・男女別人口と同じ手順で生残率、移動率を乗じて翌々年の各歳別、男女別人口を推計する。0歳人口も同様に、ここで推計された15~49歳の女性の各歳別人口に年齢別出生率を乗じて算出する。この手順を予測対象期間について繰り返し行い、将来推計人口を推計していく。なお、今回の推計では、2020年の国勢調査の0~4歳出生数を15~49歳女性人口で除した子ども女性比を求め、将来推計の15~49歳女性人口に同比率を乗じることにより、将来の0~4歳人口を推計した。

図表2 コーホート要因法による将来推計人口の推計手順



次に、推計に用いた基準人口、生残率、出生率、移動率について説明する。

(基準人口)

将来推計の出発点となる基準人口は、2020年の国勢調査の各市町村の男女別・5歳階級別人口を用いた。なお、年齢不詳人口については各歳別人口の年齢構成比で各歳別人口に按分した。

(生残率)

生残率とは、ある年齢の人口が1歳年齢が上がった時点で生き残っている率のことである。

生残率は生命表から求められるが、今回の推計では2015年の本県の生命表より男女別・年齢別の生残率を求めた。各市町村の15年の生残率と将来の仮定値については、県全体の生残率を用いた。

(出生率)

各市町村の0歳児の出生数について将来値を推計する必要があるが、今回の推計では2020年の国勢調査の0~4歳出生数を15~49歳女性人口で除した子ども女性比を求め、将来推計の15~49歳女性人口に同比率を乗じる

ことにより、将来の0～4歳人口を推計した。

(出生性比)

出生性比は、出生数に占める男女の比率であるが、同比率は概ね男子：女子=1.05：1.00で比較的安定した数値で推移していることから、将来推計においても0～4歳児の人口に同比率を用いて、男女別の人口を求めた。

(移動率)

今回の将来推計では、2017年から21年の住民基本台帳人口移動報告の結果を用いて各市町村の男女別・5歳階級別人口について移動率を求めた。各市町村の将来の移動率は原則として、この移動率が将来も続くと仮定した。ただし、各市町村で特殊な要因や事情などにより、この移動率が極端に大きい、または小さいとみられるケースでは、移動率を将来の仮定値としてそのまま用いると、将来人口が急増したり急減するなど、現実的ではない将来推計人口となるため、その要因や個別の事情などを分析・検証し、将来の仮定値について調整した。なお、85歳以上の高齢の人口については人口規模が小さいため移動率の振れが大きくなったりすること、また移動人数そのものは小さいとみられることから、移動率をゼロとした。

(2) 市町村別の将来推計人口

市町村別の将来推計人口については、男女別、5歳階級別、5年毎の推計を行った。推計方法は県全体の推計方法に準じている。なお、当研究所では先に県全体の将来推計人口を推計(2022年6月推計)したことから、各市町村の男女別、5歳階級別の人口については、全市町村の合計が県全体の将来推計人口の該当する男女別、5歳階級別の人口と一致するように調整している。

(3) 地域別の将来推計人口

北部、中部、南部、宮古、八重山地域の地域別の将来推計人口は、市町村別の将来推計人口を該当する地域別に集計したものである。

3. 市町村別の将来推計人口

県内41市町村のうち、2020年の人口が既に15年より減少している市町村は20市町村で、約半数が減少している。那覇市と金武町、嘉手納町、北谷町を除くと、全て離島と北部の自治体である。

※2020年の人口が15年より減少している市町村(20市町村)

那覇市、国頭村、東村、今帰仁村、本部町、金武町、伊江村、嘉手納町、北谷町、渡嘉敷村、粟国村、渡名喜村、南大東村、北大東村、伊平屋村、伊是名村、久米島町、多良間村、竹富町、与那国町

(人口の増減見通し)

以下、当研究所による2020年以降の各市町村の将来推計人口によると、20年から25年にかけては大宜味村や恩納村、名護市、宜野座村、読谷村、北中城村、西原町、南城市、座間味村、宮古島市の10市町村が減少に転じる見通しである(図表3～図表6)。また、25年から30年にかけては、うるま市、浦添市、糸満市、石垣市、与那国町の5市町が減少に転じる見通しである。さらに30年から35年にかけては、沖縄市、宜野湾市、八重瀬町の3市町が減少に転じ、35年から40年にかけては与那原町と豊見城市的2市町が減少に転じる見通しである。50年から55年にかけて南風原町と中城村が減少に転じることにより、県内全ての市町村が減少する見通しである。70年において人口が20年を上回っているのは、南風原町(3.8%増)と中城村(0.9%増)の2町村となり、この2町村以外は全て20年を下回っている(図表5)。一方、20年比で最も下回っているのは粟国村(69.7%減)で7割近く減少する見通しである。次いで多良間村(61.4%減)、座間味村(60.7%減)、伊江村(57.7%減)、国頭村(54.8%減)となっている。

図表3 市町村別の推計人口(人数)

		(単位:人)					
		2020年	25	30	35	40	45
沖縄県		1,467,480	1,465,430	1,455,150	1,437,880	1,416,650	1,390,600
北部	国頭村	4,510	4,240	3,980	3,710	3,440	3,170
	大宜味村	3,080	2,900	2,750	2,600	2,450	2,300
	東村	1,590	1,510	1,410	1,310	1,210	1,110
	今帰仁村	8,880	8,450	8,060	7,690	7,340	6,990
	本部町	12,510	12,090	11,670	11,210	10,720	10,220
	恩納村	10,850	10,590	10,280	9,920	9,520	9,100
	名護市	63,450	63,380	63,160	62,650	61,910	60,910
	宜野座村	5,820	5,800	5,760	5,710	5,650	5,590
	金武町	10,780	10,560	10,280	9,960	9,630	9,290
	伊平屋村	1,130	1,070	1,010	950	890	830
中部	伊是名村	1,320	1,260	1,190	1,110	1,030	950
	伊江村	4,110	4,070	3,940	3,740	3,480	3,180
	うるま市	125,100	125,710	125,710	125,150	124,230	122,900
	読谷村	41,140	40,990	40,600	40,010	39,370	38,580
	沖縄市	142,530	143,420	143,430	142,690	141,520	139,770
	嘉手納町	13,500	13,300	13,050	12,760	12,470	12,180
	北谷町	28,150	28,130	27,950	27,600	27,180	26,700
	北中城村	17,940	17,780	17,560	17,310	17,050	16,750
	中城村	22,130	22,510	22,830	23,030	23,190	23,290
	宜野湾市	99,980	100,880	101,060	100,640	99,860	98,690
南部	西原町	34,920	34,820	34,570	34,120	33,500	32,730
	浦添市	115,570	115,710	115,050	113,770	112,110	109,990
	那覇市	317,050	313,620	307,960	300,590	292,180	282,640
	与那原町	19,670	19,950	20,100	20,140	20,110	19,990
	南風原町	40,390	41,250	41,870	42,300	42,670	42,910
	南城市	43,960	43,850	43,560	43,120	42,620	42,070
	豊見城市	64,520	65,250	65,570	65,600	65,470	65,130
	糸満市	63,220	63,230	62,960	62,400	61,810	61,190
	渡嘉敷村	720	690	650	630	590	540
	座間味村	890	870	820	770	710	650
	粟国村	680	620	560	510	460	410
	渡名喜村	350	320	290	260	240	220
	南大東村	1,280	1,240	1,210	1,170	1,130	1,090
	北大東村	590	570	540	510	480	450
	久米島町	7,180	6,890	6,600	6,300	6,000	5,670
	八重瀬町	30,900	31,130	31,240	31,220	31,110	30,920
宮古島市	宮古島市	52,850	52,510	51,990	51,410	50,800	50,040
	多良間村	1,060	980	920	850	780	710
	八重山石垣市	47,580	47,700	47,540	47,150	46,560	45,740
竹富町	竹富町	3,940	3,880	3,790	3,700	3,600	3,480
	与那国町	1,670	1,680	1,660	1,620	1,570	1,510

(備考)りゅうぎん総合研究所による推計。

(続き)

(単位:人)

		2050	55	60	65	70
沖縄県		1,357,360	1,317,980	1,275,500	1,231,840	1,188,410
北部	国頭村	2,890	2,630	2,400	2,210	2,040
	大宜味村	2,140	2,000	1,880	1,790	1,700
	東村	1,020	930	860	810	760
	今帰仁村	6,640	6,320	6,040	5,800	5,590
	本部町	9,720	9,240	8,840	8,510	8,210
	恩納村	8,630	8,130	7,630	7,150	6,660
	名護市	59,600	57,980	56,230	54,460	52,690
	宜野座村	5,530	5,450	5,380	5,290	5,200
	金武町	8,940	8,580	8,200	7,830	7,470
	伊平屋村	770	720	680	640	600
中部	伊是名村	870	790	730	670	620
	伊江村	2,840	2,500	2,190	1,940	1,740
	うるま市	120,920	118,370	115,510	112,560	109,640
	読谷村	37,580	36,360	35,030	33,660	32,300
	沖縄市	137,090	133,590	129,530	125,160	120,730
	嘉手納町	11,840	11,440	11,030	10,640	10,280
	北谷町	26,070	25,290	24,410	23,450	22,500
	北中城村	16,380	15,930	15,430	14,900	14,350
	中城村	23,290	23,120	22,880	22,610	22,320
	宜野湾市	96,900	94,490	91,740	88,740	85,610
南部	西原町	31,760	30,620	29,380	28,120	26,850
	浦添市	107,170	103,700	99,780	95,570	91,340
	那覇市	271,510	259,000	245,770	232,250	218,860
	与那原町	19,760	19,440	19,060	18,640	18,200
	南風原町	42,960	42,830	42,570	42,260	41,910
	南城市	41,410	40,660	39,900	39,170	38,480
	豊見城市	64,460	63,450	62,210	60,780	59,240
	糸満市	60,540	59,770	58,920	58,020	57,180
	渡嘉敷村	490	440	400	360	310
	座間味村	590	520	460	400	350
	粟国村	360	310	270	240	210
	渡名喜村	200	190	170	170	160
	南大東村	1,040	990	950	910	880
	北大東村	420	390	360	340	320
八重山	久米島町	5,330	5,000	4,700	4,430	4,190
	八重瀬町	30,600	30,180	29,730	29,310	28,930
	宮古島市	49,050	48,030	47,140	46,410	45,810
八重山	多良間村	640	570	510	450	410
	石垣市	44,640	43,440	42,220	41,010	39,790
	竹富町	3,340	3,200	3,080	2,960	2,830
八重山	与那国町	1,440	1,370	1,300	1,230	1,160

(備考)りゅうぎん総合研究所による推計。

図表4 市町村別の将来推計人口の増減数

		(単位:人)					
		2020年	25	30	35	40	45
沖縄県	33,910	▲2,050	▲10,280	▲17,270	▲21,230	▲26,050	
北部	国頭村	▲400	▲260	▲260	▲270	▲270	▲280
	大宜味村	20	▲190	▲150	▲150	▲150	▲160
	東村	▲130	▲80	▲100	▲100	▲100	▲100
	今帰仁村	▲660	▲430	▲390	▲370	▲350	▲350
	本部町	▲1,030	▲410	▲420	▲460	▲480	▲500
	恩納村	200	▲260	▲310	▲370	▲390	▲420
	名護市	1,780	▲80	▲220	▲510	▲740	▲990
	宜野座村	230	▲20	▲40	▲60	▲60	▲60
	金武町	▲450	▲220	▲280	▲330	▲330	▲330
	伊平屋村	▲110	▲60	▲60	▲60	▲60	▲60
中部	伊是名村	▲200	▲60	▲70	▲80	▲80	▲80
	伊江村	▲150	▲40	▲120	▲210	▲250	▲300
	うるま市	6,200	610	0	▲560	▲920	▲1,330
	読谷村	1,630	▲150	▲390	▲580	▲650	▲790
	沖縄市	3,250	890	10	▲730	▲1,180	▲1,750
	嘉手納町	▲190	▲200	▲250	▲290	▲280	▲290
	北谷町	▲150	▲20	▲180	▲340	▲420	▲490
	北中城村	1,790	▲150	▲220	▲250	▲260	▲300
	中城村	2,670	390	310	200	150	110
	宜野湾市	3,740	900	180	▲430	▲780	▲1,170
南部	西原町	410	▲100	▲250	▲460	▲620	▲770
	浦添市	1,340	140	▲660	▲1,270	▲1,670	▲2,120
	那覇市	▲2,390	▲3,430	▲5,660	▲7,380	▲8,400	▲9,540
	与那原町	1,260	280	150	40	▲30	▲120
	南風原町	2,890	860	610	430	370	240
	南城市	1,950	▲120	▲290	▲430	▲500	▲550
	豊見城市	3,400	730	330	20	▲120	▲340
	糸満市	4,670	10	▲270	▲560	▲600	▲620
	渡嘉敷村	▲10	▲30	▲30	▲30	▲40	▲50
	座間味村	20	▲20	▲50	▲50	▲60	▲60
八重山	粟国村	▲80	▲60	▲60	▲50	▲50	▲50
	渡名喜村	▲80	▲30	▲30	▲30	▲20	▲20
	南大東村	▲50	▲40	▲40	▲40	▲40	▲40
	北大東村	▲40	▲20	▲30	▲30	▲30	▲30
	久米島町	▲580	▲290	▲290	▲300	▲300	▲330
	八重瀬町	1,830	230	110	▲30	▲110	▲190
	宮古島市	1,660	▲340	▲520	▲580	▲610	▲760
	多良間村	▲140	▲70	▲70	▲70	▲70	▲70
	石垣市	20	120	▲160	▲390	▲590	▲830
	竹富町	▲60	▲60	▲90	▲100	▲100	▲120
	与那国町	▲170	10	▲20	▲40	▲50	▲60

(備考)りゅうぎん総合研究所による推計。

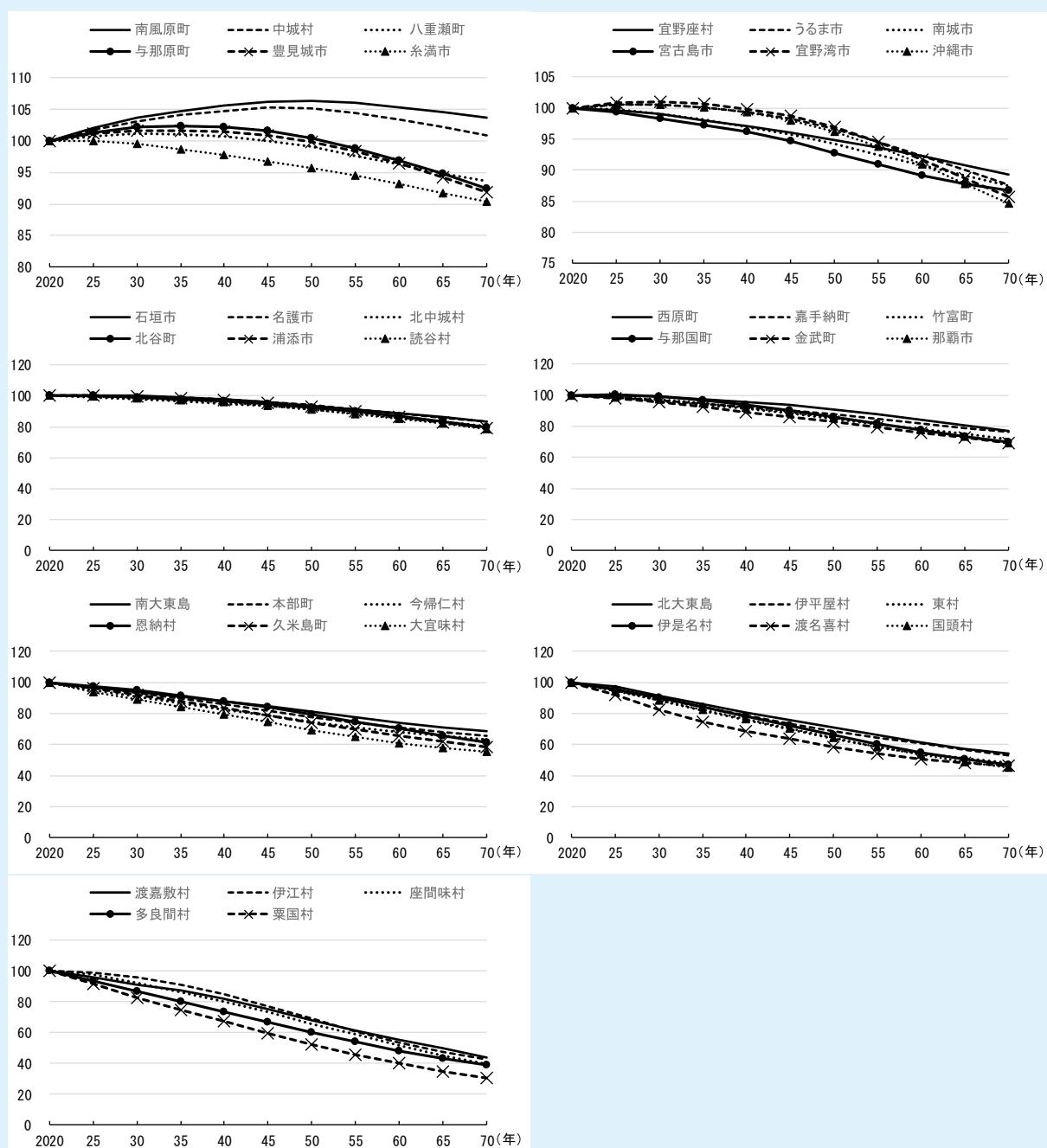
(続き)

(単位:人)

	50	55	60	65	70
沖縄県	▲33,230	▲39,390	▲42,480	▲43,650	▲43,430
北部	国頭村	▲280	▲260	▲230	▲200
	大宜味村	▲150	▲140	▲120	▲100
	東村	▲90	▲80	▲70	▲50
	今帰仁村	▲350	▲320	▲280	▲230
	本部町	▲510	▲480	▲400	▲330
	恩納村	▲470	▲510	▲490	▲490
	名護市	▲1,310	▲1,620	▲1,760	▲1,770
	宜野座村	▲70	▲70	▲80	▲80
	金武町	▲350	▲370	▲370	▲370
	伊平屋村	▲60	▲50	▲40	▲40
中部	伊是名村	▲80	▲80	▲70	▲60
	伊江村	▲330	▲340	▲310	▲250
	うるま市	▲1,990	▲2,550	▲2,850	▲2,960
	読谷村	▲1,000	▲1,220	▲1,330	▲1,370
	沖縄市	▲2,680	▲3,510	▲4,060	▲4,370
	嘉手納町	▲340	▲400	▲410	▲390
	北谷町	▲630	▲770	▲880	▲950
	北中城村	▲370	▲450	▲500	▲530
	中城村	0	▲170	▲240	▲280
	宜野湾市	▲1,790	▲2,410	▲2,750	▲3,000
南部	西原町	▲970	▲1,150	▲1,230	▲1,260
	浦添市	▲2,820	▲3,470	▲3,930	▲4,210
	那覇市	▲11,130	▲12,510	▲13,230	▲13,520
	与那原町	▲230	▲330	▲380	▲420
	南風原町	50	▲130	▲260	▲310
	南城市	▲670	▲740	▲760	▲730
	豊見城市	▲670	▲1,010	▲1,250	▲1,430
	糸満市	▲650	▲770	▲860	▲900
	渡嘉敷村	▲50	▲50	▲40	▲40
	座間味村	▲70	▲60	▲60	▲60
八重山	粟国村	▲50	▲50	▲40	▲30
	渡名喜村	▲20	▲20	▲10	▲10
	南大東村	▲50	▲50	▲40	▲40
	北大東村	▲30	▲30	▲30	▲20
	久米島町	▲340	▲330	▲310	▲270
	八重瀬町	▲320	▲420	▲450	▲420
	宮古島市	▲990	▲1,030	▲890	▲720
	多良間村	▲70	▲70	▲60	▲50
	石垣市	▲1,090	▲1,200	▲1,220	▲1,210
	竹富町	▲140	▲140	▲120	▲120
	与那国町	▲70	▲70	▲70	▲70

(備考)りゅうぎん総合研究所による推計。

図表5 市町村別の将来推計人口(2020年=100)



(備考)りゅうぎん総合研究所による推計。各市町村のグラフは上(左→右)から増加率の高い順に掲載している。

(人口の構成比)

県人口に占める構成比をみると、2070年で最も大きいのは那覇市(18.4%)で、次いで沖縄市(10.2%)、うるま市(9.2%)、浦添市(7.7%)、宜野湾市(7.2%)となる見通しであり、20年と同じ順位となっている(図表5)。構

成比の増減では、最も増加するのは南風原町で、0.8ポイント上昇する見通しである。次いで、うるま市(0.7ポイント上昇)、豊見城市(0.6ポイント上昇)、糸満市(0.5ポイント上昇)、沖縄市(0.4ポイント上昇)となっている。

図表6 市町村別の将来推計人口の増減数と構成比(2020年、2070年)

	2020年	2070年	増減数	増減率	構成比			
					2020年	2070年	増減(%P)	
沖縄県	1,467,480	1,188,410	▲279,070	▲19.0	100.0	100.0	-	
北部	国頭村	4,510	2,040	▲2,470	▲54.8	0.3	0.2	▲0.1
	大宜味村	3,080	1,700	▲1,380	▲44.8	0.2	0.1	▲0.1
	東村	1,590	760	▲830	▲52.2	0.1	0.1	▲0.0
	今帰仁村	8,880	5,590	▲3,290	▲37.0	0.6	0.5	▲0.1
	本部町	12,510	8,210	▲4,300	▲34.4	0.9	0.7	▲0.2
	恩納村	10,850	6,660	▲4,190	▲38.6	0.7	0.6	▲0.2
	名護市	63,450	52,690	▲10,760	▲17.0	4.3	4.4	0.1
	宜野座村	5,820	5,200	▲620	▲10.7	0.4	0.4	0.0
	金武町	10,780	7,470	▲3,310	▲30.7	0.7	0.6	▲0.1
	伊平屋村	1,130	600	▲530	▲46.9	0.1	0.1	▲0.0
中部	伊是名村	1,320	620	▲700	▲53.0	0.1	0.1	▲0.0
	伊江村	4,110	1,740	▲2,370	▲57.7	0.3	0.1	▲0.1
	うるま市	125,100	109,640	▲15,460	▲12.4	8.5	9.2	0.7
	読谷村	41,140	32,300	▲8,840	▲21.5	2.8	2.7	▲0.1
	沖縄市	142,530	120,730	▲21,800	▲15.3	9.7	10.2	0.4
	嘉手納町	13,500	10,280	▲3,220	▲23.9	0.9	0.9	▲0.1
	北谷町	28,150	22,500	▲5,650	▲20.1	1.9	1.9	▲0.0
	北中城村	17,940	14,350	▲3,590	▲20.0	1.2	1.2	▲0.0
	中城村	22,130	22,320	190	0.9	1.5	1.9	0.4
	宜野湾市	99,980	85,610	▲14,370	▲14.4	6.8	7.2	0.4
南部	西原町	34,920	26,850	▲8,070	▲23.1	2.4	2.3	▲0.1
	浦添市	115,570	91,340	▲24,230	▲21.0	7.9	7.7	▲0.2
	那覇市	317,050	218,860	▲98,190	▲31.0	21.6	18.4	▲3.2
	与那原町	19,670	18,200	▲1,470	▲7.5	1.3	1.5	0.2
	南風原町	40,390	41,910	1,520	3.8	2.8	3.5	0.8
	南城市	43,960	38,480	▲5,480	▲12.5	3.0	3.2	0.2
	豊見城市	64,520	59,240	▲5,280	▲8.2	4.4	5.0	0.6
	糸満市	63,220	57,180	▲6,040	▲9.6	4.3	4.8	0.5
	渡嘉敷村	720	310	▲410	▲56.9	0.0	0.0	▲0.0
	座間味村	890	350	▲540	▲60.7	0.1	0.0	▲0.0
	粟国村	680	210	▲470	▲69.1	0.0	0.0	▲0.0
	渡名喜村	350	160	▲190	▲54.3	0.0	0.0	▲0.0
	南太東村	1,280	880	▲400	▲31.3	0.1	0.1	▲0.0
	北大東村	590	320	▲270	▲45.8	0.0	0.0	▲0.0
	久米島町	7,180	4,190	▲2,990	▲41.6	0.5	0.4	▲0.1
宮古	八重瀬町	30,900	28,930	▲1,970	▲6.4	2.1	2.4	0.3
	宮古島市	52,850	45,810	▲7,040	▲13.3	3.6	3.9	0.3
	多良間村	1,060	410	▲650	▲61.3	0.1	0.0	▲0.0
八重山	石垣市	47,580	39,790	▲7,790	▲16.4	3.2	3.3	0.1
	竹富町	3,940	2,830	▲1,110	▲28.2	0.3	0.2	▲0.0
	与那国町	1,670	1,160	▲510	▲30.5	0.1	0.1	▲0.0

(備考)増減率は下1桁で計算しているため、下2桁で表記している人口の増減率とは一致しない。

りゅうぎん総合研究所による推計。

(年齢3区別人口の増減)

2020年から70年までの人口の増減率を年齢3区別でみると、0～14歳人口の年少人口は全ての市町村で減少する見通しである(図表7)。最も減少率が大きいのは渡嘉敷村(90.6%減)で、次いで座間味村(88.3%減)、粟国村(82.1%減)、多良間村(75.8%減)、伊江村(70.0%減)、国頭村(63.7%減)となっている。また、15～64歳の生産年齢人口も全ての市町村で減少する見通しである。最も減少率が大きいのは渡嘉敷村(78.4%減)で、次いで粟国村(78.1%減)、伊江村(75.9%減)、座間味村

(72.8%減)、多良間村(66.5%減)、伊是名村(59.9%減)となっている。

一方、65歳以上の老人人口は23市町村で増加する見通しである。最も増加率が大きいのは中城村(64.0%増)で、次いで南風原町(56.6%増)、宜野湾市(53.1%増)、豊見城市(49.4%増)、沖縄市(45.0%増)となっている。また、最も減少率が大きいのは渡名喜村(68.9%減)で、次いで東村(56.9%減)、粟国村(53.9%減)、伊平屋村(46.0%減)、多良間村(45.2%減)となっており、既に高齢者の割合が高い自治体となっている。

図表7 市町村別の年齢3区別人口と増減率(2020年、2070年)

	0~14歳			15~64歳			65歳以上			(単位:人、%)	
	2020年	2070年	2020 → 70年	2020年	2070年	2020 → 70年	2020年	2070年	2020 → 70年		
沖縄県	248,060	149,450	▲39.8	888,370	624,040	▲29.8	331,050	414,920	25.3		
北部	国頭村	590	210	▲63.7	2,380	980	▲59.1	1,540	850	▲44.9	
	東村	200	110	▲42.5	810	400	▲50.9	580	250	▲56.9	
	大宜味村	350	190	▲46.4	1,600	870	▲45.4	1,140	640	▲43.4	
	今帰仁村	1,340	790	▲40.8	4,540	3,010	▲33.8	3,000	1,800	▲40.1	
	本部町	1,810	1,060	▲41.2	6,590	4,330	▲34.3	4,100	2,820	▲31.3	
	名護市	10,860	6,630	▲38.9	38,390	26,740	▲30.4	14,200	19,320	36.0	
	宜野座村	1,160	850	▲26.4	3,180	2,690	▲15.5	1,480	1,660	11.9	
	恩納村	1,590	640	▲59.8	6,660	3,190	▲52.1	2,600	2,840	9.0	
	金武町	1,880	960	▲48.8	5,920	3,920	▲33.9	2,980	2,590	▲13.2	
	伊平屋村	160	60	▲59.6	560	320	▲43.8	400	220	▲46.0	
中部	伊是名村	210	80	▲61.4	710	280	▲59.9	400	260	▲36.9	
	伊江村	620	190	▲70.0	2,070	500	▲75.9	1,410	1,050	▲25.6	
	うるま市	21,260	14,060	▲33.8	75,930	58,540	▲22.9	27,910	37,030	32.7	
	読谷村	7,100	3,850	▲45.8	25,030	16,900	▲32.5	9,010	11,550	28.3	
	沖縄市	24,600	14,280	▲41.9	88,410	63,630	▲28.0	29,520	42,810	45.0	
	嘉手納町	2,320	1,470	▲36.7	7,910	5,400	▲31.7	3,260	3,400	4.2	
	北谷町	4,900	2,770	▲43.4	17,390	11,980	▲31.2	5,860	7,760	32.3	
	北中城村	3,000	1,740	▲42.1	10,630	7,610	▲28.4	4,300	5,000	16.4	
	中城村	4,080	3,170	▲22.3	13,740	12,090	▲12.0	4,310	7,060	64.0	
	宜野湾市	17,360	10,610	▲38.9	63,060	45,060	▲28.6	19,550	29,940	53.1	
南部	西原町	5,720	2,790	▲51.1	21,650	13,610	▲37.1	7,560	10,440	38.1	
	浦添市	19,890	10,700	▲46.2	72,320	47,480	▲34.3	23,360	33,150	41.9	
	那覇市	47,630	21,940	▲53.9	195,520	109,750	▲43.9	73,890	87,180	18.0	
	南風原町	8,230	6,790	▲17.5	24,310	22,810	▲6.1	7,860	12,300	56.6	
	与那原町	3,820	2,590	▲32.2	11,900	9,910	▲16.7	3,950	5,700	44.3	
	南城市	7,760	5,690	▲26.8	24,850	20,710	▲16.6	11,350	12,080	6.4	
	豊見城市	12,650	8,430	▲33.3	39,130	31,770	▲18.8	12,740	19,040	49.4	
	八重瀬町	5,990	4,700	▲21.5	18,030	15,690	▲13.0	6,880	8,530	24.0	
	糸満市	11,200	8,650	▲22.7	35,820	31,090	▲13.2	16,210	17,440	7.6	
	粟国村	80	10	▲82.1	350	80	▲78.1	250	110	▲53.9	
東部	渡名喜村	30	20	▲34.8	170	100	▲43.8	140	40	▲68.9	
	久米島町	1,080	520	▲52.1	3,970	2,190	▲45.0	2,130	1,490	▲30.2	
	渡嘉敷村	140	10	▲90.6	430	90	▲78.4	140	210	▲43.4	
	座間味村	160	20	▲88.3	550	150	▲72.8	190	180	▲1.4	
	北大東村	100	50	▲46.9	370	180	▲51.8	130	90	▲28.6	
	南大東村	200	130	▲36.7	770	510	▲34.1	310	250	▲20.7	
	宮古島市	8,560	6,620	▲22.6	30,070	25,660	▲14.7	14,220	13,540	▲4.8	
	多良間村	150	40	▲75.8	590	200	▲66.5	320	180	▲45.2	
	石垣市	8,310	5,440	▲34.6	28,690	21,440	▲25.3	10,580	12,900	21.9	
	重竹富町	710	380	▲46.9	2,320	1,600	▲31.2	900	850	▲5.4	
西部	与那国町	300	190	▲36.4	1,020	600	▲41.3	360	380	5.3	

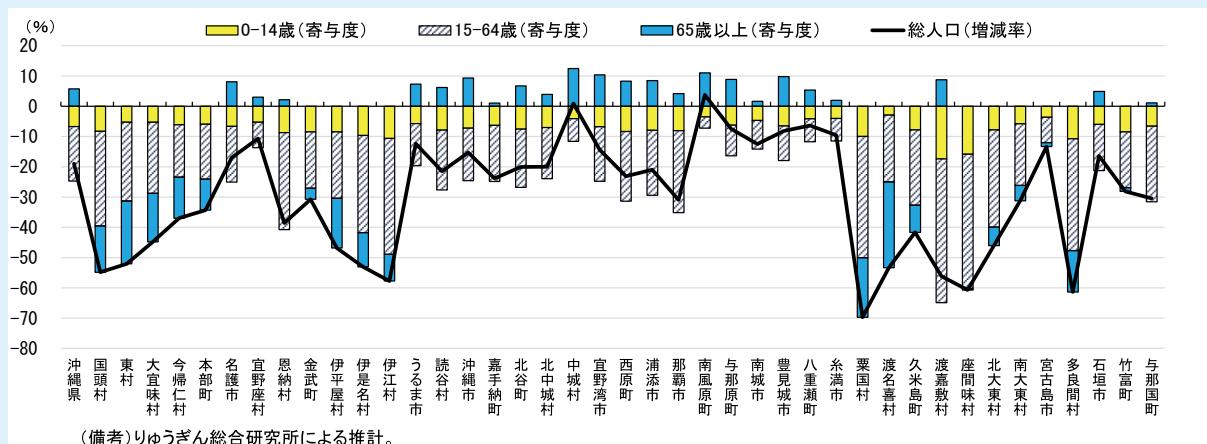
(備考)増減率は下1桁で計算しているため、下2桁で表記している人口の増減率とは一致しない。
りゅうぎん総合研究所による推計。

(人口増減率に対する年齢3区別人口の増減寄与度)

人口の増減率に対する年齢3区別人口の増減寄与度をみると、前述のとおり0~14歳人口および15~64歳人口は全ての市町村で減少しているので全市町村でマイナスに寄与

している(図表8)。65歳以上人口は23市町村でプラスに寄与している。また、渡名喜村や粟国村、東村、大宜味村など、既に高齢者の割合が高い自治体では今後、死亡者が増加することにより65歳以上人口もマイナスに寄与している。

図表8 人口増減率と年齢3区別人口の増減寄与度(2020年~2070年)



(年齢3区分別人口の構成比)

各市町村の人口に占める年齢3区分別人口の構成比について2020年と70年を比較すると、0～14歳人口では、渡名喜村が20年の8.4%が70年には11.8%に3.3ポイント(注)上昇し、東村が12.4%から14.9%に2.5ポイント上昇するが、この2村以外は全て低下する見通しである(図表9、図表10)。なお、渡名喜村と東村は0～14歳人口の人数は減少するが、15～64歳人口や65歳以上人口の減少数が上回るため、構成比が相対的に上昇している。15～64歳人口では、竹富町が20年の50.5%から70年には60.9%に10.4ポイント上昇し、中城村が50.0%から52.8%に2.8ポイント上昇、伊是名村が51.1%から52.2%に1.2ポイント上

昇(注)するが、この3町村以外は全て低下する見通しである。

一方、65歳以上人口では、渡嘉敷村が20年の20.2%から70年には66.1%に45.9ポイント上昇し、座間味村が20.8%から52.3%に31.5ポイント上昇、伊江村が34.4%から60.5%に26.1ポイント上昇するなど、38市町村で上昇する見通しである。低下するのは3村で、渡名喜村が41.1%から27.4%に13.7ポイント低下し、東村が36.5%から32.9%に3.7ポイント(注)し、今帰仁村が33.8%から32.1%に1.7ポイント低下する見通しである。

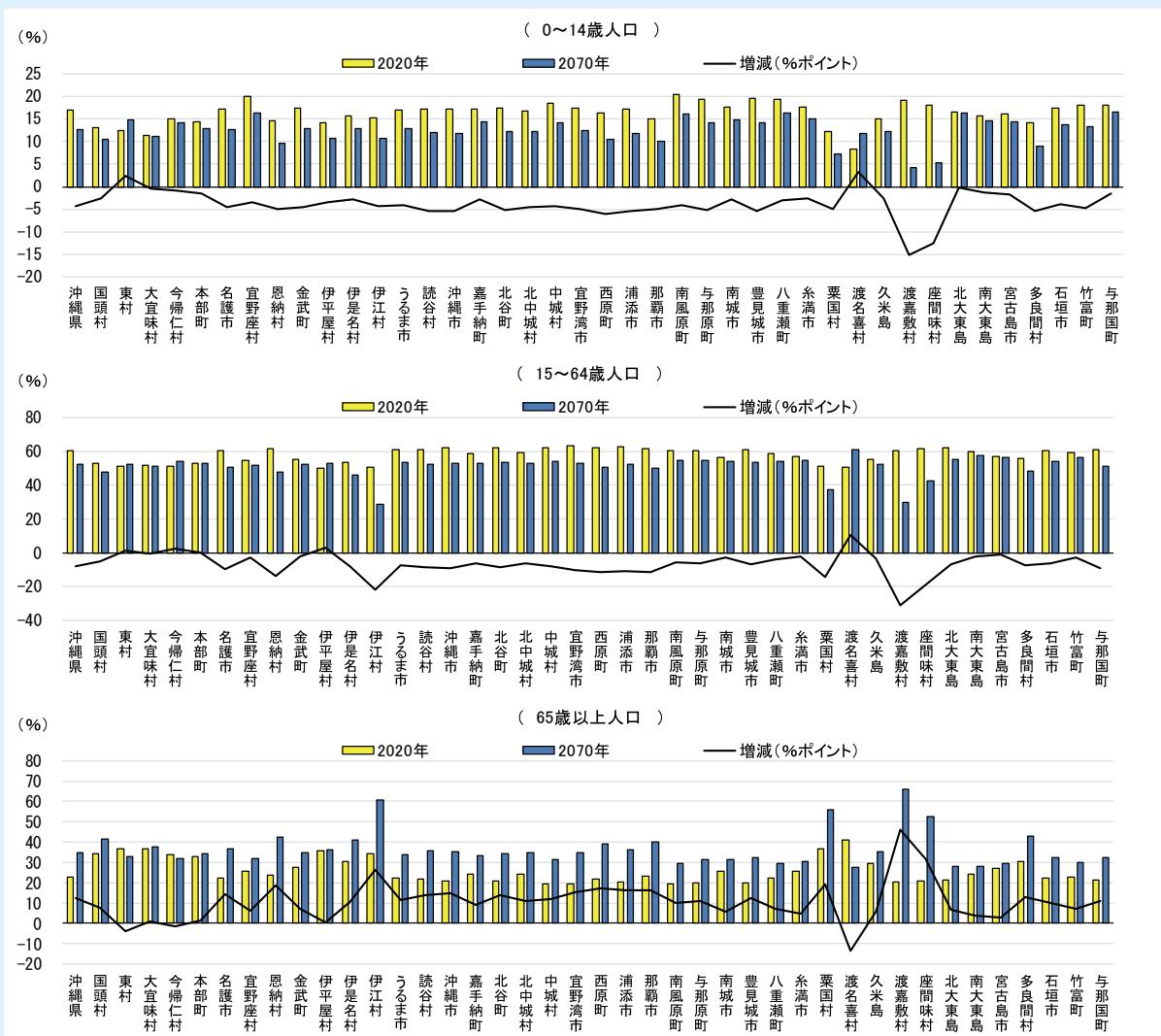
(注)有効桁数の関係で、構成比の差分は表記される差分と0.1ポイント異なる。

図表9 市町村別の年齢3区分別人口の構成比(2020年、2070年)

	0～14歳			15～64歳			65歳以上			(単位: %、%ポイント)
	2020年	2070年	2020 →70年	2020年	2070年	2020 →70年	2020年	2070年	2020 →70年	
北部	沖縄県	16.9	12.6	▲ 4.3	64.8	51.7	▲ 13.1	22.6	34.9	12.4
	国頭村	13.0	10.5	▲ 2.6	59.0	40.6	▲ 18.4	34.1	41.6	7.5
	東村	12.4	14.9	2.5	60.4	41.7	▲ 18.6	36.5	32.9	▲ 3.7
	大宜味村	11.4	11.1	▲ 0.3	58.0	40.9	▲ 17.1	36.9	37.8	0.9
	今帰仁村	15.0	14.1	▲ 0.9	58.6	43.0	▲ 15.6	33.8	32.1	▲ 1.7
	本部町	14.5	13.0	▲ 1.5	61.9	41.7	▲ 20.2	32.8	34.3	1.5
	名護市	17.1	12.6	▲ 4.5	64.9	48.6	▲ 16.3	22.4	36.7	14.3
	宜野座村	19.9	16.4	▲ 3.5	59.9	49.7	▲ 10.3	25.4	31.9	6.4
	恩納村	14.6	9.6	▲ 5.1	64.9	52.7	▲ 12.2	24.0	42.5	18.6
	金武町	17.4	12.9	▲ 4.5	60.5	52.5	▲ 8.0	27.7	34.7	7.0
中部	伊平屋村	14.2	10.8	▲ 3.4	52.8	47.9	▲ 4.9	35.8	36.4	0.6
	伊是名村	15.7	12.9	▲ 2.8	51.1	52.2	1.2	30.7	41.2	10.6
	伊江村	15.2	10.8	▲ 4.4	51.7	51.1	▲ 0.6	34.4	60.5	26.1
	うるま市	17.0	12.8	▲ 4.2	51.2	53.8	2.6	22.3	33.8	11.5
	読谷村	17.3	11.9	▲ 5.3	52.7	52.7	▲ 0.0	21.9	35.8	13.9
	沖縄市	17.3	11.8	▲ 5.4	60.5	50.7	▲ 9.8	20.7	35.5	14.7
	嘉手納町	17.2	14.3	▲ 2.9	54.7	51.8	▲ 2.9	24.2	33.1	8.9
	北谷町	17.4	12.3	▲ 5.1	61.4	47.9	▲ 13.5	20.8	34.5	13.6
	北中城村	16.7	12.1	▲ 4.6	54.9	52.5	▲ 2.5	24.0	34.9	10.9
	中城村	18.4	14.2	▲ 4.2	50.0	52.8	2.8	19.5	31.6	12.2
南部	宜野湾市	17.4	12.4	▲ 5.0	53.6	45.9	▲ 7.8	19.6	35.0	15.4
	西原町	16.4	10.4	▲ 6.0	50.5	28.7	▲ 21.7	21.6	38.9	17.2
	浦添市	17.2	11.7	▲ 5.5	60.7	53.4	▲ 7.3	20.2	36.3	16.1
	那覇市	15.0	10.0	▲ 5.0	60.9	52.3	▲ 8.5	23.3	39.8	16.5
	南風原町	20.4	16.2	▲ 4.2	62.0	52.7	▲ 9.3	19.5	29.4	9.9
	与那原町	19.4	14.2	▲ 5.2	58.6	52.6	▲ 6.0	20.1	31.3	11.2
	南城市	17.7	14.8	▲ 2.9	61.8	53.2	▲ 8.6	25.8	31.4	5.6
	豊見城市	19.6	14.2	▲ 5.4	59.3	53.0	▲ 6.3	19.8	32.1	12.4
	八重瀬町	19.4	16.3	▲ 3.1	62.1	54.2	▲ 7.9	22.3	29.5	7.2
	糸満市	17.7	15.1	▲ 2.6	63.1	52.6	▲ 10.4	25.6	30.5	4.9
宮古島市	栗国村	12.2	7.2	▲ 5.0	62.0	50.7	▲ 11.3	36.6	55.7	19.1
	渡名喜村	8.4	11.8	3.3	62.6	52.0	▲ 10.6	41.1	27.4	▲ 13.7
	久米島町	15.0	12.3	▲ 2.7	61.7	50.1	▲ 11.5	29.7	35.5	5.8
	渡嘉敷村	19.2	4.1	▲ 15.1	60.2	54.4	▲ 5.7	20.2	66.1	45.9
	座間味村	18.0	5.4	▲ 12.6	60.5	54.5	▲ 6.0	20.8	52.3	31.5
	北太東村	16.6	16.4	▲ 0.3	56.5	53.8	▲ 2.7	21.4	28.3	6.9
	南大東村	15.7	14.5	▲ 1.3	60.6	53.6	▲ 7.0	24.4	28.2	3.7
	宮古島市	16.2	14.4	▲ 1.7	58.3	54.2	▲ 4.1	26.9	29.5	2.6
	多良間村	14.2	8.9	▲ 5.3	56.7	54.4	▲ 2.3	30.3	43.0	12.7
	八重山	17.5	13.7	▲ 3.8	51.3	37.1	▲ 14.2	22.2	32.4	10.2
八重山	竹富町	18.1	13.3	▲ 4.7	50.5	60.9	10.4	22.9	30.2	7.2
	与那国町	18.0	16.5	▲ 1.5	55.3	52.2	▲ 3.1	21.3	32.3	11.0

(備考)りゅうぎん総合研究所による推計。

図表10 年齢3区分別人口の構成比(2020年、2070年)



(備考)りゅうぎん総合研究所による推計。

4. 県内地域別の将来推計人口

(地域別の将来推計人口)

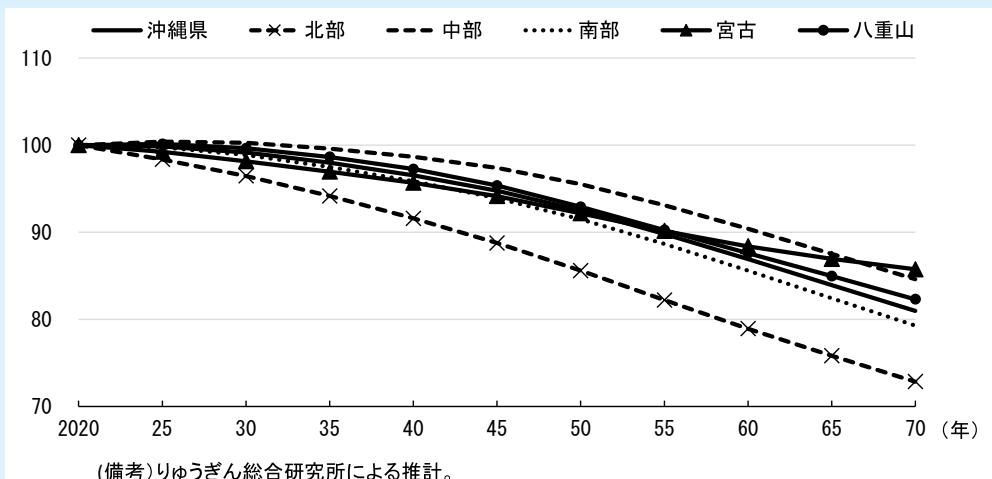
北部、中部、南部、宮古、八重山の地域別の将来推計人口は、その地域の市町村の将来推計人口を集計したものである。地域別では、北部地域が20年は12万8,030人で既に15年(12万8,930人)より減少しており、その後も減少が続き、70年に9万3,280人となる見通しである(図表11、図表12)。また、南部地域と宮古地域は20年から25年に減少に転じ、南部地域は20年の70万6,970人から70年には56万550人

となり、宮古地域は5万3,900人から4万6,220人となる見通しである。中部地域は25年から30年に減少に転じ、20年の52万5,380人から70年には44万4,570人となる見通しであり、30年には全ての地域が減少に転じる見通しである。八重山地域は、20年は5万3,190人で、15年比で既に減少しているが、25年は僅ながら増加に転じ、30年には再び減少に転じる見通しである。70年には4万3,780人となる見通しである。

市町村の地域区分

地域	市町村					
北 部	国頭村	東村	大宜味村	今帰仁村	本部町	名護市
	宜野座村	恩納村	金武町	伊平屋村	伊是名村	伊江村
中 部	うるま市	読谷村	沖縄市	嘉手納町	北谷町	
	北中城村	中城村	宜野湾市	西原町		
南 部	浦添市	那覇市	南風原町	与那原町	南城市	
	豊見城市	八重瀬町	糸満市	粟国村	渡名喜村	
	久米島町	渡嘉敷村	座間味村	北大東村	南大東村	
宮 古	宮古島市	多良間村				
八重山	石垣市	竹富町	与那国町			

図表11 地域別の将来推計人口(2020年=100)



図表12 地域別の将来推計人口と構成比

(人 数)	2020年	25	30	35	40	45	(単位 : 人)
沖 縄	1,467,480	1,465,430	1,455,150	1,437,880	1,416,650	1,390,600	
北部	128,030	125,920	123,510	120,550	117,280	113,640	
中部	525,380	527,550	526,750	523,320	518,370	511,600	
南部	706,970	705,200	698,980	689,270	677,690	663,880	
宮古	53,900	53,500	52,910	52,260	51,580	50,750	
八重山	53,190	53,260	53,000	52,470	51,730	50,730	

(構成比)	2020年	25	30	35	40	45
沖 縄	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
北部	8.7	8.6	8.5	8.4	8.3	8.2
中部	35.8	36.0	36.2	36.4	36.6	36.8
南部	48.2	48.1	48.0	47.9	47.8	47.7
宮古	3.7	3.7	3.6	3.6	3.6	3.6
八重山	3.6	3.6	3.6	3.6	3.7	3.6

(備考)りゅうぎん総合研究所による推計。

(続き)

(人 数)	50	55	60	65	70	(単位 : 人)
沖 縄	1,357,360	1,317,980	1,275,500	1,231,840	1,188,410	
北部	109,580	105,270	101,060	97,090	93,280	
中部	501,830	489,210	474,950	459,840	444,570	
南部	646,830	626,890	605,250	582,840	560,550	
宮古	49,690	48,590	47,640	46,870	46,220	
八重山	49,430	48,010	46,600	45,200	43,780	

(構成比)	50	55	60	65	70	(単位 : %)
沖 縄	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
北部	8.1	8.0	7.9	7.9	7.8	
中部	37.0	37.1	37.2	37.3	37.4	
南部	47.7	47.6	47.5	47.3	47.2	
宮古	3.7	3.7	3.7	3.8	3.9	
八重山	3.6	3.6	3.7	3.7	3.7	

(備考)りゅうぎん総合研究所による推計。

※沖縄科学技術大学院大学のHPから
許可を得て転載した記事です。

新時代の教育研究を切り拓く

～沖縄科学技術大学院大学の取り組みについて～

イカの養殖システムの開発に成功



イカは、細長い胴体に8本の足と触腕(しょくわん)と呼ばれる2本の腕を持つ頭足類の一種で、世界の海に少なくとも450種が分布しているといわれています。良質のタンパク質を多く含むため、体に良い食材としても長年注目されてきました。しかし、スルメイカを代表とする日本の海に生息するイカ類は、1980年代より全種の個体数が減少し始め、現在では全盛期の1割程度までに落ち込み、その値段も年々高騰しています。そのため、世界有数の魚介類消費国である日本では南米産の輸入加工品に頼っているのが現状です。



沖縄には3種のアオリイカ（ツツイカの仲間）が生息している。研究者によると、1980年代より個体数が減少し始め、現在は以前の1割程度に減少している。ツツイカの持続可能な食材利用に養殖が役立つ可能性がある。写真提供：中島隆太

しかし、養殖によって、この課題を克服できる可能性があります。沖縄科学技術大学院大学(OIST)のジョナサン・ミラー教授率いる物理生物学ユニットの研究チームは、商業化の可能

性を秘めたツツイカの養殖システムを初めて開発しました。ツツイカは、攻撃的な行動を取り、流れに敏感であるほか、餌の好みやライフサイクルが複雑であることなどが原因で、これ

までに適切な手法で養殖に成功した例はありませんでした。

同研究ユニットにおいてツツイカの養殖を担当しているズデニエク・ライブネル博士は、次のように述べています。「一般に、養殖は容易にできることだと思われていますが、実はとても難しいのです。例えば、ニホンウナギとマグロは、海洋科学者たちが何十年にもわたって養殖の開発を試みてきましたが、どちらもまだ大部分を天然物に頼っています」

ツツイカの養殖に向けた取り組みも過去60年間行われてきましたが、目覚ましい成果には至っていませんでした。しかし、今回の開発によって、ツツイカを誕生から繁殖までのライフサイクルが完結するまで飼育するという非常に困難な課題を達成しただけでなく、商業化も可能なほど効率的で安価に行うことができました。ライブネル博士は、本システムでは特に産卵とふ化に適した条件を整えることに重点を置いていると強調しました。

OISTの客員研究員である中島隆太博士は、

次のように述べています。「養殖の様々な分野の知識を応用して数々の調整を行いました。これまでに関わった他の2つの研究室と比較すると、ここでのふ化率や生存率は非常に高いといえます」

この養殖システムは、ツツイカの一種であるアオリイカという種の養殖用に設計したものです。アオリイカは、沖縄には3種、日本本土の海には2種が生息しています。

「今回の研究成果は、ツツイカを何世代にもわたって持続的に養殖できるようになる画期的な一歩となりました」と、ミラー教授は述べています。

研究チームは現在、本発明の応用に興味を持つ企業を求めてOISTの技術開発イノベーションセンター(TDIC)と緊密に連携しており、特許申請を行いました。

TDICの技術移転スペシャリストであるグラハム・ガーナーさんは、「この技術を企業に紹介し、ライセンス供与に繋げたいと思います」と声を弾ませました。



OISTでは新型コロナウイルス感染防止のため、当面の間一般見学（カフェ利用含む）受け入れを停止しております。オンラインでキャンパスの見学ツアーを行っています。詳しくはHPの見学ページ (<https://www.oist.jp/ja/page/29933>) をご覧ください。

お客様のSDGsに関する取組みをりゅうぎんがサポート!

りゅうぎん SDGs応援 サービス

Ryugin SDGs support service

りゅうぎんSDGs応援サービスとは?



お客様のSDGsへの取組状況や、今後取り組まれる現時点の課題等を「診断書ツール」を活用して見える化



当行が提供するソリューションにより、個別課題に向けた具体的な取組みをサポート(伴走支援)

対象 当行とお取引のある法人・個人事業主のお客さま 取扱店 当行全営業店

サクッと診断! 無料版

もっとサポート! 有料版 110,000円(税込)



簡易ヒアリング

診断結果 ▶ 約1日



深掘りヒアリング

診断結果 ▶ 約1カ月



「SDGs宣言書」の作成



- ・「SDGs宣言書」の作成
- ・当行HPリリース



伴走支援



伴走支援

ご注意事項

- 本サービスで使用するチェックシートは東京海上日動火災保険株式会社に開発協力をいただいております。
- 本サービスで使用するチェックシートは三井住友海上火災保険株式会社およびMS&ADインターリンク総研株式会社に開発協力をいただいております。
- 本サービスのご相談は、お近くの琉球銀行の支店にお問い合わせください。



琉球銀行

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

当行は持続可能な開発目標(SDGs)を支持しています

2022年8月26日 現在

県内大型プロジェクトの動向

Vol.151

事業名：琉球ホテル&リゾート 名城ビーチ

種別：公共 民間 3セク

関係地域	糸満市
事業主体	主体名：株式会社ケン・コーポレーション(代表取締役社長 中川 堅悟) 所在地：東京都港区西麻布1丁目2番7号 電話：03-5413-5691(企画部 担当：渡邊)
事業目的	那覇空港より車で約20分、天然ビーチに面した空港から最も近いラグジュアリーリゾート。リゾートMICEにも対応し、アジア・パシフィック・ナンバーワンのリゾートを目指して開業。
工 期	2019年度～2022年度
事業規模	地上11階・地下1階 客室数443室
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ■名称：琉球ホテル&リゾート 名城ビーチ ■所在地：沖縄県糸満市名城963番地 ■交通：那覇空港より車で約20分 ■敷地面積：42,076.52m² ■延床面積：58,688.31m² ■建物規模：地上11階、地下1階 ■客室数：443室 ■構造：鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 ■館内施設：レストラン・バー9種、宴会場(大宴会場・中宴会場・小宴会場・控室3室)、プール・インドアプール、ジム、スパ、ショップ他 ■設計：株式会社 国建 ■施工：フジタ・國場組建設共同企業体 ■内装設計：株式会社イリア
経緯	<p>2019年3月 建設工事着手 2022年5月 建設工事竣工 2022年7月 グランドオープン</p>
現況及び見通し	<ul style="list-style-type: none"> ・国内、海外に33軒のホテルを所有、展開するプレミアホテルグループが、34軒目のホテルとして「琉球ホテル&リゾート 名城ビーチ」を開業。株式会社ケン・コーポレーションが所有し、運営は現地法人の株式会社PHG琉球マネジメントが担う ・全室オーシャンビューの客室からは、1年を通じて美しい海やサンセットを眺めることができる。デザインのコンセプトは「琉球コロニアル」 ・欧風の建築様式と沖縄の伝統文化の美しさを掛け合わせたモダンなインテリアとした ・ハイカテゴリーのルームタイプに宿泊のお客様専用のクラブラウンジや、趣向を凝らした9種のレストラン＆バー、流れるプールをはじめとする6種のプールを有するプールエリアの敷地面積は約10,000m²で県内最大級。他にもユニークな施設を備える ・「リゾートを優雅に遊ぶ」をコンセプトに、ここでしか体験できない上質なサービスを提供 ・最大2,000人規模の本格リゾートMICEを実現する1,130m²の大宴会場および一体利用可能なホワイエやガーデン、さらに中宴会場や小宴会場、複数の会議室も備えている
進捗状況	2022年7月23日 開業
熟度	<input type="checkbox"/> 構想段階 <input type="checkbox"/> 計画段階 <input type="checkbox"/> 工事段階 <input checked="" type="checkbox"/> 開業・供用段階

ホテル外観



メインロビー



ビュッフェダイニング Nashiro



パノラマコーナースイートツイン



流れるプール



(写真は琉球ホテル&リゾート 名城ビーチ 提供)

●りゅうぎん調査● 県内の



景気は、持ち直しの動きが強まる

消費関連では、百貨店売上高は前年を上回る

観光関連では、入域観光客数は前年を上回る

消費関連は前年同月に緊急事態宣言が発出されていた反動に加え、外出機会が増加したことなどにより消費マインドの向上がみられ、持ち直しの動きがみられること(上方修正)、建設関連は資材価格が上昇するものの、民間工事に再開の動きがみられ、下げ止まりの動きがみられること、観光関連は前年の反動に加え、行動制限がないなか感染状況の悪化の影響も限定的で旅行需要が高まっており、持ち直しの動きが強まり(上方修正)、総じて県内景気は持ち直しの動きが強まる(上方修正)。



消費関連

百貨店売上高は、5カ月連続で前年を上回った。クリアランスセール開催により衣料品を中心に季節商材が伸長したことなどから前年を上回った。スーパー売上高は、前年の時短営業による反動に加え、気温上昇に伴い衣料品が増加したことなどから既存店・全店ベースともに2カ月連続で前年を上回った。新車販売台数は、新車供給の停滞は継続しているものの、観光需要の回復に伴いレンタカー増車の動きがみられたことなどから2カ月連続で前年を上回った。家電大型専門店販売額(6月)は、2カ月ぶりに前年を上回った。

先行きは、新型コロナウイルスの影響や物価高などにより引き続き不透明感はあるものの、人流回復に伴う消費マインド向上が期待され、持ち直しに向かうとみられる。



建設関連

公共工事請負金額は、独立行政法人等・その他は増加したが、国・県・市町村は減少したことから2カ月ぶりに前年を下回った。建築着工床面積(6月)は、非居住用は減少したものの、居住用は増加したことから2カ月連続で前年を上回った。新設住宅着工戸数(6月)は、持家・分譲は増加したが、貸家は減少したことから4カ月ぶりに前年を下回った。県内主要建設会社の受注額は、民間工事は増加したものの、公共工事は減少したことから2カ月連続で前年を下回った。建設資材関連では、セメントは2カ月連続で前年を上回り、生コンは2カ月連続で前年を上回った。鋼材売上高は鋼材価格の上昇がみられることなどから前年を上回り、木材売上高は木材価格が高止まりしていることなどから前年を上回った。

先行きは、資材価格などが上昇しているものの、民間工事に再開の動きがみられることなどから下げ止まりの動きがみられる。



観光関連

入域観光客数は、8カ月連続で前年を上回った。国内客が増加し、外国客は引き続き0人となった。県内主要ホテルは、稼働率、売上高、宿泊収入が8カ月連続で前年を上回った。主要観光施設入場者数は5カ月連続で前年を上回った。ゴルフ場は、入場者数は2カ月連続で増加、売上高は5カ月連続で前年を上回った。前年同月は緊急事態宣言が発出されていたため反動が大きく、3年ぶりに行動制限のない夏休みとなり、旅行需要の高まりがみられた。

先行きは、那覇空港においても訪日外国人観光客の受け入れが再開され、入国条件も段階的に緩和されてきていることから徐々に外国客も増加が見込まれること、また国内においても、観光需要回復の動きが明確にみられることから、持ち直しの動きが強まるとみられる。



雇用関連・その他

新規求人数は、前年同月比20.6%増となり16カ月連続で前年を上回った。生活関連サービス業・娯楽業、サービス業(他に分類されない)などで増加した。有効求人倍率(季調値)は1.01倍で、前月より0.02ポイント上昇した。完全失業率(季調値)は3.8%と、前月より1.2ポイント上昇した。

消費者物価指数は、前年同月比3.1%の上昇となり、10カ月連続で前年を上回った。生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同1.5%の上昇となった。

企業倒産件数は1件で前年同月と同数となった。負債総額は9,400万円で、前年同月比39.0%減となった。

消費関連



建設関連



観光関連



その他



2022.7

りゅうぎん調査

増減率(%)

消費関連

建設関連

観光関連

その他



消費関連

	前年同月比	前年同期比 (2022.5-2022.7)
(1) 百 貨 店 (金額)	12.0	19.7
(2) スーパー(既存店)(金額)	2.9	1.1
(3) スーパー(全店)(金額)	3.6	1.4
(4) 新車販売(台数)	7.6	▲ 3.6
(5) 家電大型専門店販売額(金額)	(6月) 12.6 (4-6月)	0.0



建設関連

(1) 公共工事請負金額(金額)	▲ 40.6	▲ 4.0
(2) 建築着工床面積(m ²)	(6月) 2.5 (4-6月)	9.7
(3) 新設住宅着工戸数(戸)	(6月) ▲ 2.0 (4-6月)	5.9
(4) 建設受注額(金額)	P ▲ 32.9	P ▲ 19.9
(5) セメント(トン数)	9.5	5.8
(6) 生コン(m ³)	12.4	10.4
(7) 鋼材(金額)	18.4	13.9
(8) 木材(金額)	11.3	9.7



観光関連

(1) 入域観光客数(人数) うち外国客数(人数)	142.7 0.0	138.8 0.0
(2) 県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) P (実数)	(前年同期差) P (実数)
(3) " 売上高(金額)	P 183.4	P 144.1
(4) 観光施設入場者数(人数)	P 537.1	P 294.7
(5) ゴルフ場入場者数(人数)	31.5	15.4
(6) " 売上高(金額)	53.9	32.0



その他

(1) 県内新規求人數(人数)	20.6	28.3
(2) 有効求人倍率(季調値)	(実数) 1.01	(実数) 0.98
(3) 消費者物価指數(総合)	3.1	3.0
(4) 企業倒産件数(件数)	(前年同月差) 0	(前年同期差) ▲ 5
(5) 広告収入(県内マスコミ)(金額)	(6月) ▲ 1.2 (4-6月)	1.8

(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人數、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指數は沖縄県調べ。

企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

(注2) 2022年4月より家電卸売販売額から家電大型専門店販売額へと更改した。

(注3) ゴルフ場は、2021年4月より調査先を8ゴルフ場から6ゴルフ場とした。

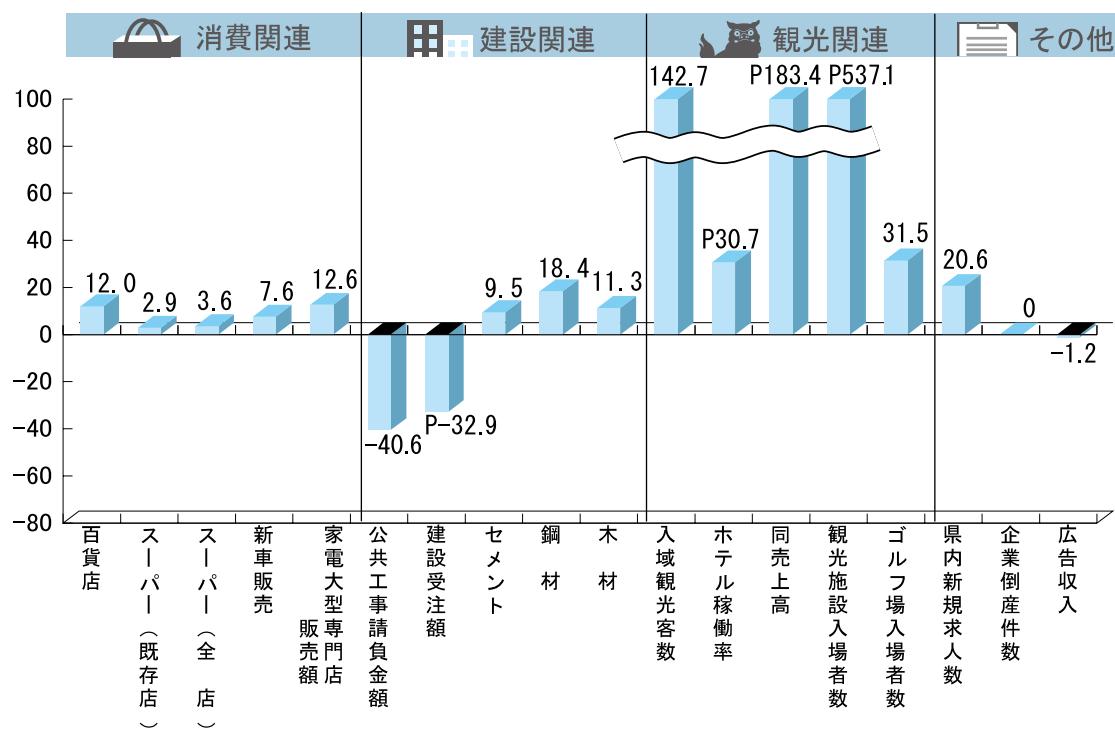
(注4) 主要ホテルは、2021年11月より調査先を28ホテルから27ホテルとした。

(注5) 2016年7月より企業倒産件数の前年同期差は、3ヵ月の累計件数の差とする。

(注6) 建設受注額は、2021年1月より調査先を18社から17社とした。

(注7) 有効求人倍率(季調値)と県内新規求人數(人数)は、就業地ベース。

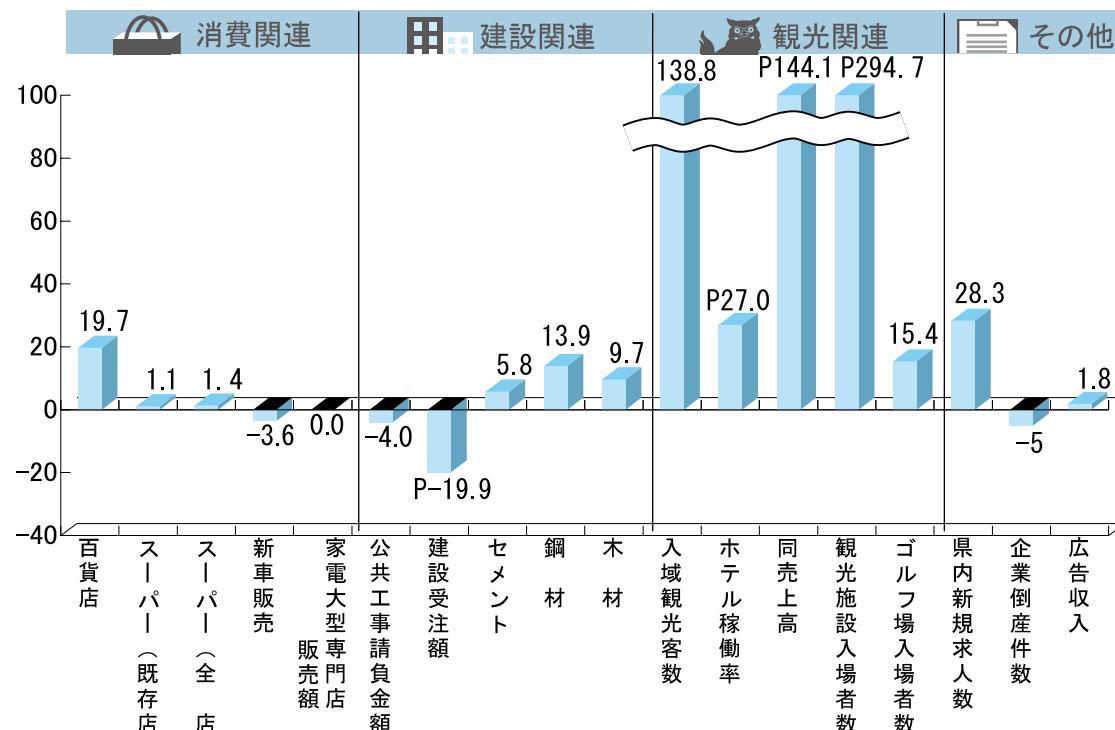
項目別グラフ 単月 2022.7



(注) 家電販売額・新規求人数・広告収入は22年6月分。数値は前年比(%)。

ホテル稼働率(%ポイント)、企業倒産件数(件)は前年差。Pは速報値。

項目別グラフ 3カ月 2022.5～2022.7



(注) 家電販売額・新規求人数・広告収入は22年4月～22年6月分。数値は前年比(%)。

ホテル稼働率(%ポイント)は前年差。企業倒産件数(件)は3カ月の累計件数の前年差。Pは速報値。

消費関連

建設関連

観光関連

その他



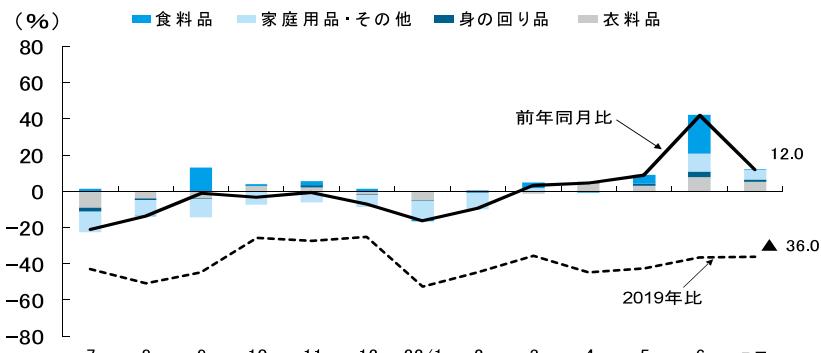
消費関連

①百貨店売上高（前年同月比）

※棒グラフは品目別寄与度

5カ月連続で増加

- ・百貨店売上高は、前年同月比12.0%増と5カ月連続で前年を上回った。クリアランスセール開催により衣料品を中心に季節商材が伸長したことなどから前年を上回った。
- ・品目別にみると、衣料品が同19.5%増、身の回り品が同26.1%増、食料品は同水準、家庭用品・その他が同23.7%増となった。
- ・新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は、36.0%の減少となった。

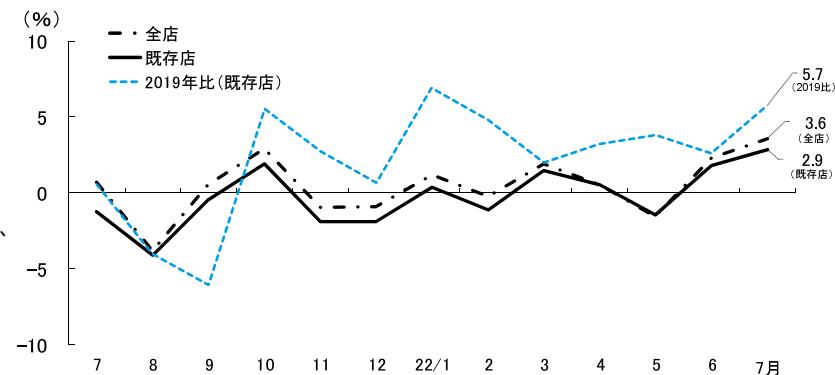


出所：りゅうぎん総合研究所

②スーパー売上高（前年同月比）

全店ベースは2カ月連続で増加

- ・スーパー売上高は、既存店ベースでは前年同月比2.9%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・衣料品は、前年の緊急事態宣言に伴う時短営業の反動に加え、気温上昇に伴い夏物衣料が伸長したことなどから同6.4%増、食料品は同2.6%増、住居関連は同3.2%増となった。
- ・全店ベースでは同3.6%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・新型コロナ以前の2019年と比較すると、既存店ベースでは5.7%の増加となった。



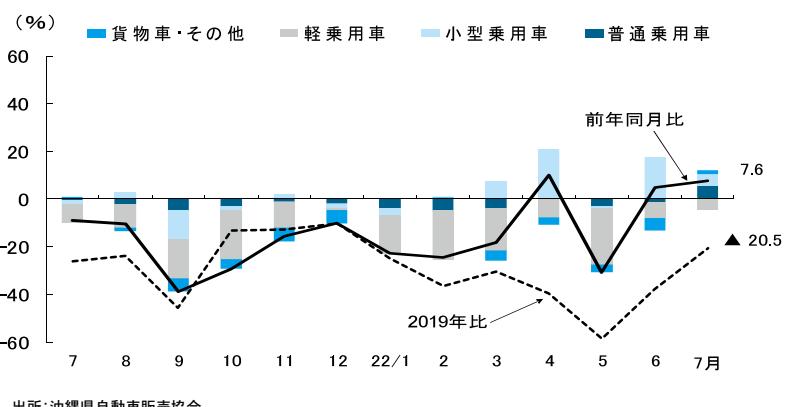
出所：りゅうぎん総合研究所

③新車販売台数（前年同月比）

※棒グラフは車種別寄与度

2カ月連続で増加

- ・新車販売台数は4,645台で前年同月比7.6%増と2カ月連続で前年を上回った。新車供給の停滞は継続しているものの、観光需要の回復に伴いレンタカーを増車する動きがみられたことなどから前年を上回った。
- ・普通自動車（登録車）は2,858台（同21.7%増）で、うち普通乗用車は891台（同37.3%増）、小型乗用車は1,758台（同13.1%増）であった。軽自動車（届出車）は1,787台（同9.2%減）で、うち軽乗用車は1,310台（同13.0%減）であった。
- ・新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は、20.5%の減少となった。



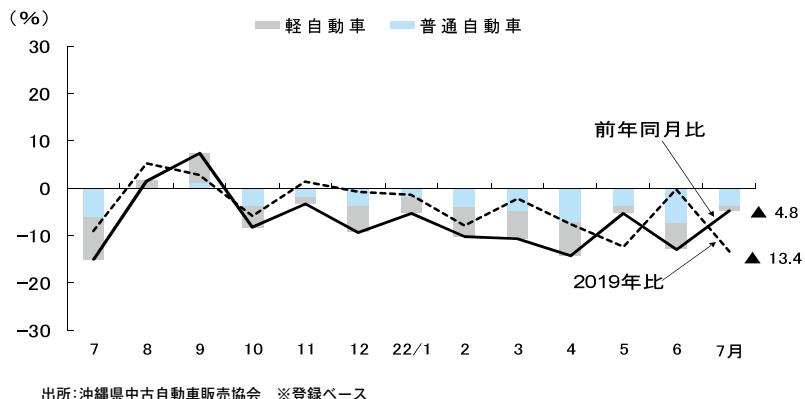
出所：沖縄県自動車販売協会

④ 中古自動車販売台数【登録ベース】（前年同月比）

※棒グラフは車種別寄与度

10カ月連続で減少

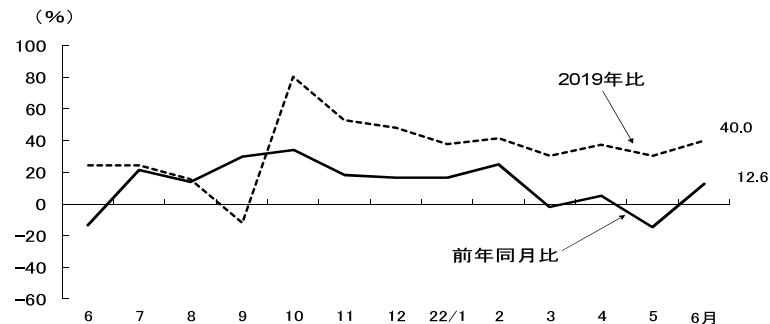
- ・中古自動車販売台数(普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース)は1万8,233台で前年同月比4.8%減と10カ月連続で前年を下回った。
- ・内訳では普通自動車は7,187台(同9.2%減)、軽自動車は1万1,046台(同1.6%減)となった。
- ・新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は、13.4%の減少となった。



出所:沖縄県中古自動車販売協会 ※登録ベース

⑤ 家電大型専門店販売額(前年同月比)**2カ月ぶりに増加**

- ・家電大型専門店販売額(6月)は、前年同月比12.6%増と2カ月ぶりに前年を上回った。
- ・梅雨明け後の気温上昇に伴い、エアコンなどの季節商材が好調に推移したことなどから前年を上回った。
- ・新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は、40.0%の増加となった。



出所:経済産業省商業動態統計調査

建設関連

①公共工事請負金額（前年同月比）

※棒グラフは発注者別寄与度

2カ月ぶりに減少

- ・公共工事請負金額は、264億588万円で、独立行政法人等・その他は増加したが、国、県、市町村は減少したことから前年同月比40.6%減となり、2カ月ぶりに前年を下回った。
- ・発注者別では、独立行政法人等・その他（同30.7%増）は増加し、国（同54.4%減）、県（同39.4%減）、市町村（同23.2%減）は減少した。



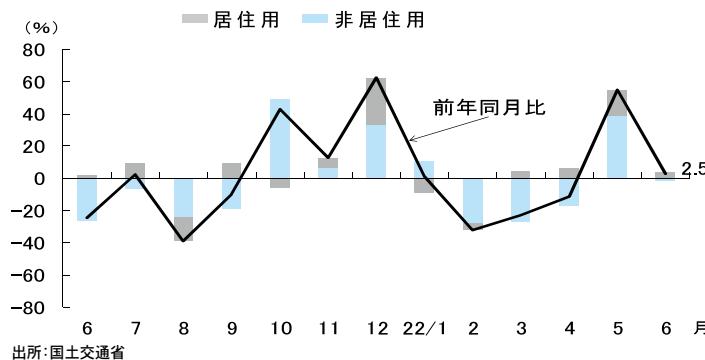
出所：西日本建設業保証株式会社沖縄支店

②建築着工床面積（前年同月比）

※棒グラフは用途別寄与度

2カ月連続で増加

- ・建築着工床面積（6月）は12万4,677m²となり、非居住用は減少したものの、居住用は増加したことから前年同月比2.5%増と2カ月連続で前年を上回った。用途別では、居住用は同7.1%増となり、非居住用は同2.5%減となった。
- ・建築着工床面積を用途別（大分類）にみると、居住用では、居住専用は増加し、居住産業併用は減少した。非居住用では、教育・学習支援業用などが増加し、公務用や飲食店・宿泊業用などが減少した。



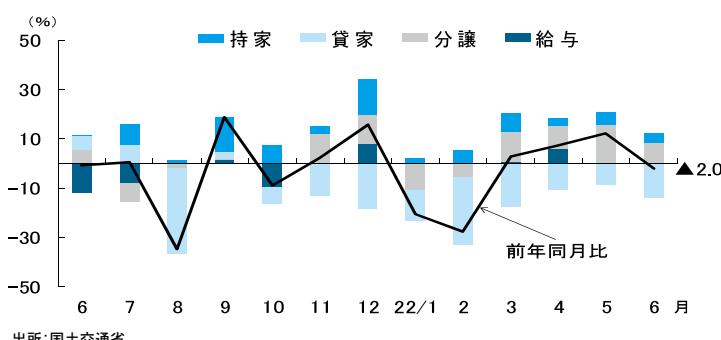
出所：国土交通省

③新設住宅着工戸数（前年同月比）

※棒グラフは利用関係別寄与度

4カ月ぶりに減少

- ・新設住宅着工戸数（6月）は746戸となり、持家、分譲は増加したが、貸家は減少したことから前年同月比2.0%減と4カ月ぶりに前年を下回った。
- ・利用関係別では、持家（258戸）が同12.7%増、分譲（200戸）が同46.0%増と増加し、貸家（287戸）が同27.2%減と減少した。給与（1戸）は同数となった。



出所：国土交通省

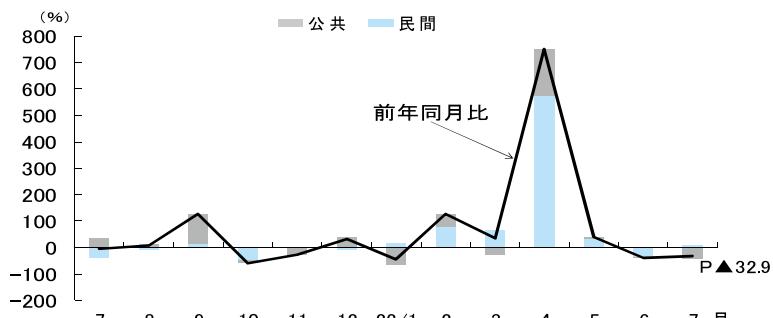
※給与は、社宅や宿舎などのこと。

④建設受注額（前年同月比）

※棒グラフは発注者別寄与度

2カ月連続で減少

- 建設受注額（調査先建設会社：17社、速報値）は、民間工事は増加したものの、公共工事は減少したことから前年同月比32.9%減と2カ月連続で前年を下回った。
- 発注者別では、公共工事（同74.3%減）は2カ月連続で減少し、民間工事（同18.8%増）は2カ月ぶりに増加した。



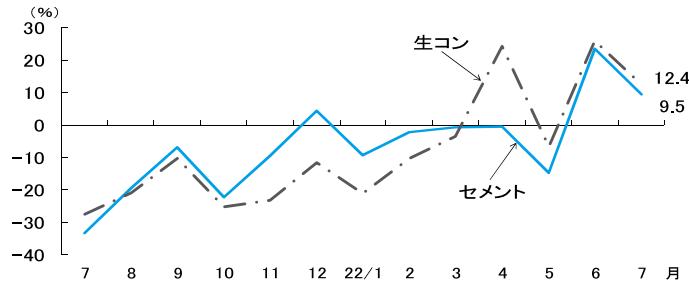
出所：りゅうぎん総合研究所

(注)2021年1月より調査先の一部更改を行い、18社から17社となった。

⑤セメント・生コン(前年同月比)

セメントは2カ月連続で増加、 生コンは2カ月連続で増加

- セメント出荷量は6万3,786トンとなり、前年同月比9.5%増と2カ月連続で前年を上回った。
- 生コン出荷量は10万4,549m³で同12.4%増となり、2カ月連続で前年を上回った。
- 生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、一般土木向けや防衛省向けなどが増加し、公共施設向けなどが減少した。民間工事では、社屋関連向けや医療関連向けなどが増加し、電力関連向けなどが減少した。

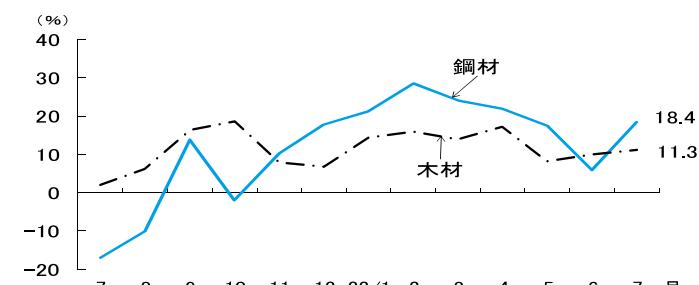


出所：りゅうぎん総合研究所

⑥鋼材・木材（前年同月比）

鋼材は9カ月連続で増加、 木材は15カ月連続で増加

- 鋼材売上高は、鋼材価格の上昇がみられるなどから前年同月比18.4%増と9カ月連続で前年を上回った。
- 木材売上高は、木材価格が高止まりしていることなどから同11.3%増と15カ月連続で前年を上回った。



出所：りゅうぎん総合研究所



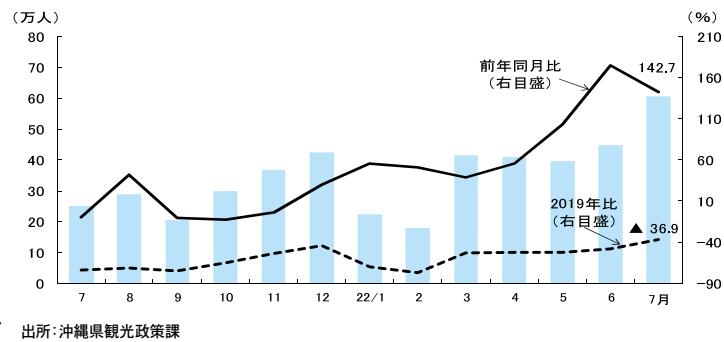
観光関連

① 入域観光客数(実数、前年同月比)

8カ月連続で増加

- ・入域観光客数は、60万7,800人(前年同月比142.7%増)となり、8カ月連続で前年を上回った。
- ・路線別では、空路は60万6,400人(同143.1%増)となり8カ月連続で前年を上回った。海路は1,400人(同40.0%増)となり6カ月連続で前年を上回った。
- ・前年同月とは異なり行動制限がなく、感染状況悪化の影響も限定的で旅行需要が回復するなか、多くの航空会社で減便なく提供座席数が増加したことなどを受け、前年比は上昇した。
- ・新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は36.9%の減少となった。

■ 外国客(左目盛) ■ 国内客(左目盛)

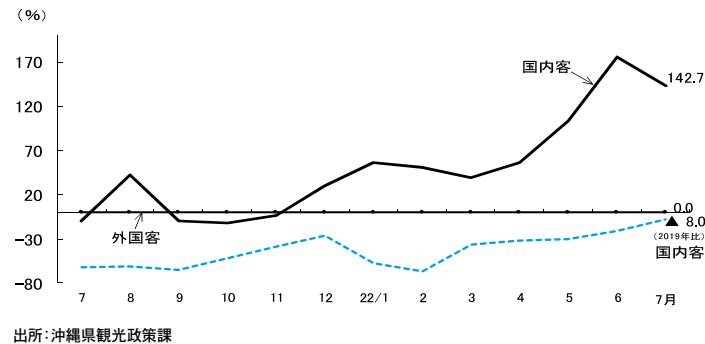


出所:沖縄県観光政策課

② 入域観光客数【国内客、外国客】(前年同月比)

国内客は増加、 外国客は28カ月連続で0人

- ・国内客は、60万7,800人(前年同月比142.7%増)となり、8カ月連続で前年を上回った。
- ・外国客は、2020年4月以降28カ月連続で0人となった。
- ・新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は、国内客は8.0%の減少、外国客は全滅となった。



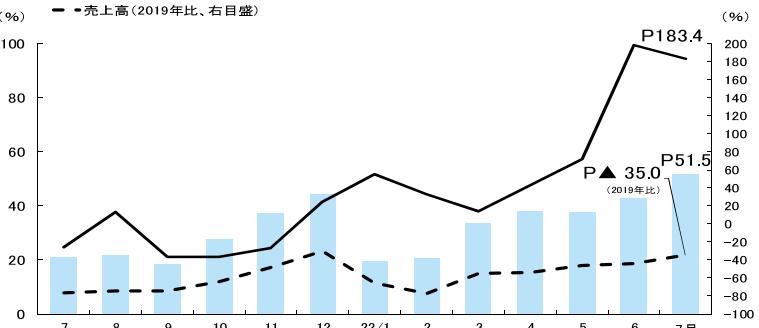
出所:沖縄県観光政策課

③ 主要ホテル稼働率・売上高(実数、前年同月比)

稼働率、売上高ともに8カ月連続で増加

- ・主要ホテル(速報値)は、客室稼働率は51.5%と前年同月差30.7%ポイント上昇、売上高は前年同月比183.4%増となり、稼働率、売上高とともに8カ月連続で前年を上回った。
- ・那覇市内ホテルの客室稼働率は55.5%と同33.3%ポイント上昇、売上高は同203.8%増となった。リゾート型ホテル(速報値)の客室稼働率は50.1%と同29.7%ポイント上昇、売上高は同181.0%増となり、那覇市内、リゾートともに稼働率と売上高が8カ月連続で前年を上回った。
- ・新型コロナ以前の2019年と比較した売上高は、全体は35.0%の減少、那覇市内ホテルは46.8%減少、リゾート型ホテルは33.2%減少となった。

■ 稼働率(実数、左目盛)
■ 売上高(前年同月比、右目盛)
■ 売上高(2019年比、右目盛)



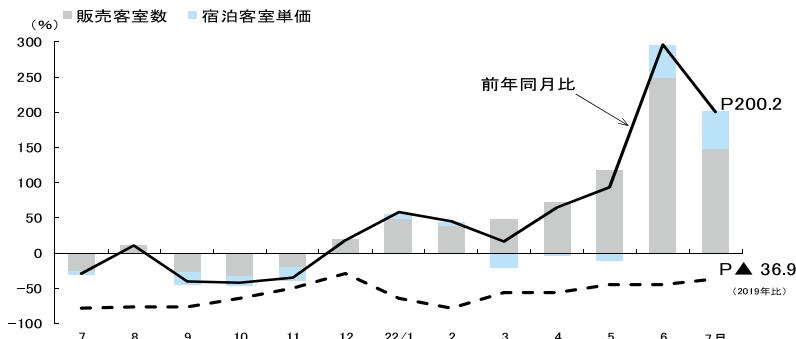
出所:りゅうぎん総合研究所 (注)2021年11月より調査先の一部更改を行い、28ホテルから27ホテルとなった。

④主要ホテル宿泊収入(前年同月比)

※棒グラフは客室数・単価別寄与度

8ヶ月連続で増加

- 主要ホテル売上高(速報値)のうち宿泊収入は、販売客室数(数量要因)増加、宿泊客室単価(価格要因)は上昇し、前年同月比200.2%増と8ヶ月連続で前年を上回った。
- 那覇市内ホテルは販売客室数が増加、宿泊客室単価は上昇し、同235.0%増、リゾート型ホテル(速報値)は販売客室数が増加、宿泊客室単価は上昇し、同196.9%増と、那覇市内・リゾート型ともに8ヶ月連続で前年を上回った。
- 新型コロナ以前の2019年と比較した宿泊収入は、全体は36.9%の減少、那覇市内ホテルは51.1%減少、リゾート型ホテルは33.2%減少となった。

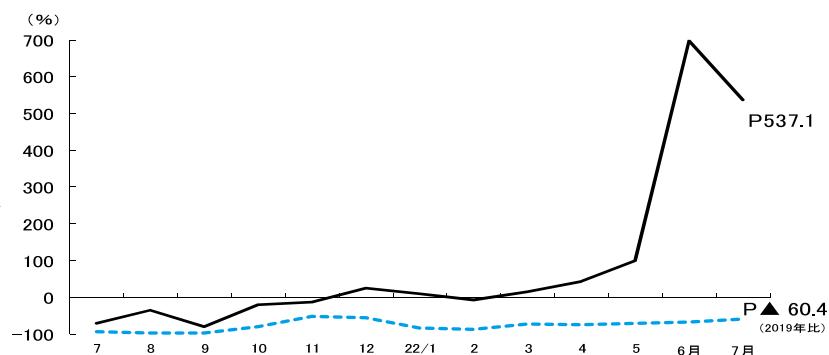


出所:りゅうぎん総合研究所 (注)2021年11月より調査先の一部更改を行い、28ホテルから27ホテルとなった。

⑤主要観光施設の入場者数(前年同月比)

5ヶ月連続で増加

- 主要観光施設の入場者数(速報値)は、前年同月比537.1%増と5ヶ月連続で前年を上回った。
- 前年同月は緊急事態宣言下で休業となっていた施設が多くその反動に加え、夏休み旅行者による観光施設利用が増加した。
- 新型コロナ以前の2019年と比較した入場者数は、60.4%の減少となった。

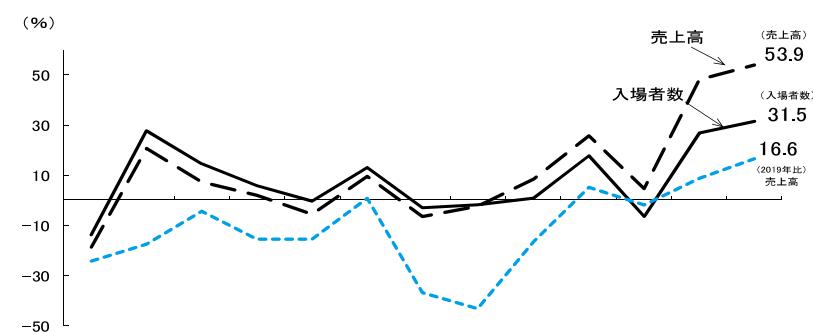


出所:りゅうぎん総合研究所

⑥主要ゴルフ場入場者数・売上高(前年同月比)

入場者数は2ヶ月連続で増加、 売上高は5ヶ月連続で増加

- 主要ゴルフ場の入場者数は、前年同月比31.5%増と2ヶ月連続で前年を上回った。県内客は2ヶ月連続で前年を上回り、県外客は9ヶ月連続で前年を上回った。売上高は同53.9%増と5ヶ月連続で前年を上回った。
- 前年同月と比較すると天候に恵まれたことや県外客の需要の高まりから、入場者数・売上高ともに好調な月となつた。
- 新型コロナ以前の2019年と比較すると、入場者数は22.3%増加(県内客は増加、県外客は減少)、売上高は16.6%の増加となった。



出所:りゅうぎん総合研究所 (注)調査先は8施設(うち県外客については6施設)からなる。

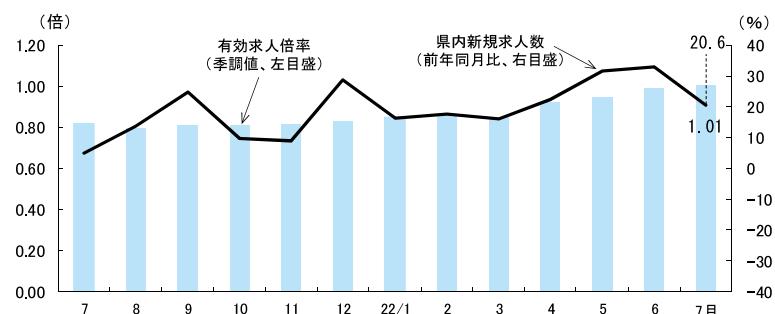


雇用関連・その他

①雇用関連（新規求人数と有効求人倍率）

新規求人数は増加、 有効求人倍率（季調値）は上昇

- 新規求人数は、前年同月比20.6%増となり16カ月連続で前年を上回った。産業別にみると、生活関連サービス業・娯楽業、サービス業（他に分類されない）などで増加した。有効求人倍率（季調値）は1.01倍で、前月より0.02ポイント上昇した。
- 労働力人口は、74万3,000人で同1.2%減となり、就業者数は、71万4,000人で同0.8%減となった。完全失業者数は2万9,000人で同9.4%減となり、完全失業率（季調値）は3.8%と、前月より1.2ポイント上昇した。



出所：沖縄労働局（就業地別）

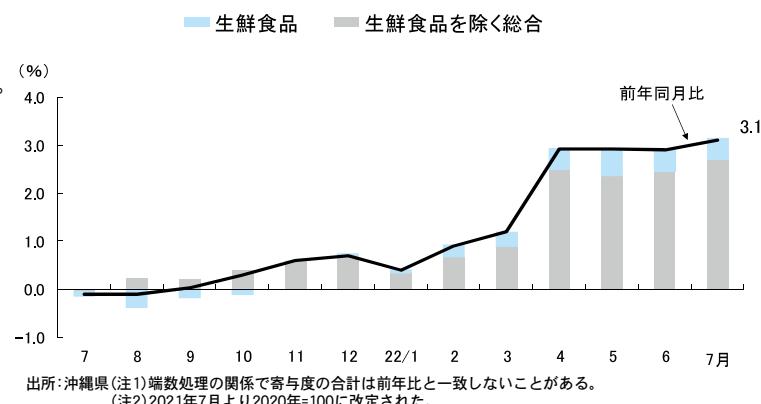
(注)有効求人倍率は、2021年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

※棒グラフは品目別寄与度

②消費者物価指数【総合】

10カ月連続で上昇

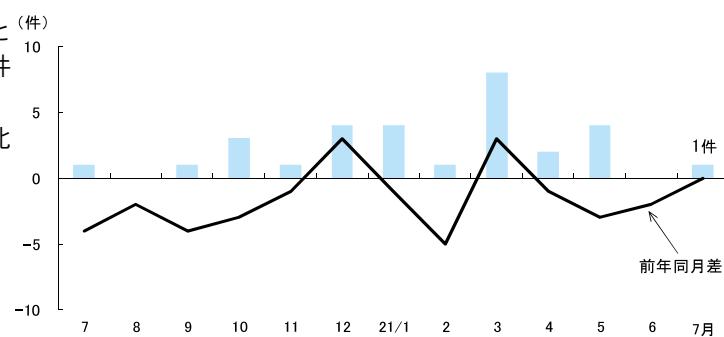
- 消費者物価指数は、前年同月比3.1%の上昇となり、10カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同2.8%の上昇となり、生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同1.5%の上昇となった。
- 品目別の動きをみると、食料、光熱・水道などは上昇し、家具・家事用品などは下落した。



③企業倒産

件数は同数、負債総額は減少

- 倒産件数は、1件で前年同月と同数となった。業種別では、製造業1件（同1件増）となった。
- 負債総額は9,400万円で、前年同月比39.0%減となった。



出所：東京商工リサーチ沖縄支店

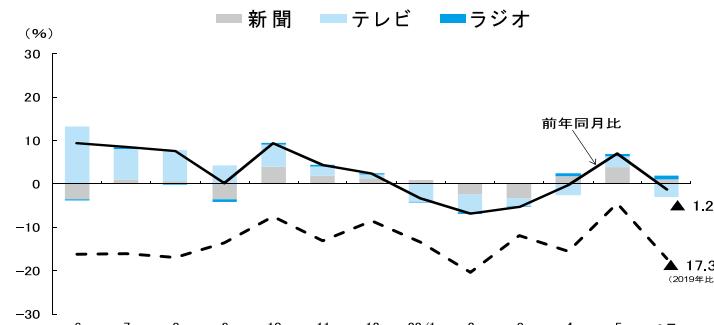
(注)負債総額1,000万円以上

④ 広告収入【マスコミ】(前年同月比)

※棒グラフはメディア別寄与度

2カ月ぶりに減少

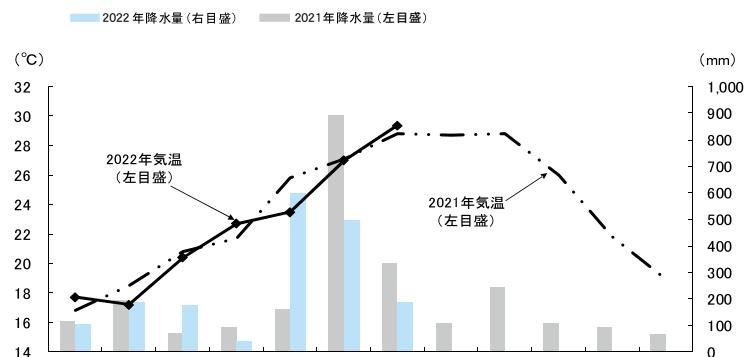
- ・広告収入(マスコミ: 6月)は、前年同月比1.2%減と2カ月ぶりに前年を下回った。
- ・新型コロナ以前の2019年と比較すると、17.3%の減少となった。



出所:りゅうぎん総合研究所

参考 気象:平均気温・降水量【那覇】

- ・平均気温は29.4℃となり、前年同月(28.8℃)より高く、降水量は189.5mmで前年同月(337.5mm)より少なかった。
- ・太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多くなった。月のはじめは台風第4号、月の終わりは台風第5号や第6号などの影響で曇りや雨のところが多く、大雨や荒れた天気となった所があった。平均気温、降水量、日照時間はすべて平年並みであった。



出所:沖縄気象台



アンガーマネジメント

よりよい関係築く技術

琉球銀行 営業推進部 調査役
波平 郁江

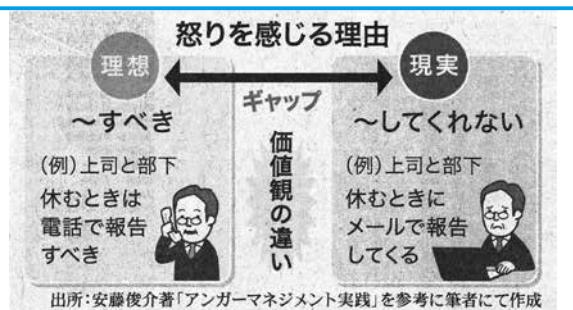
会社や家庭、友人関係で、ついカッとなって怒ってしまい、後で冷静になった時に後悔したことはありませんか。アンガーマネジメントとは、怒りなどの強い気持ちが生じても、それを適切にコントロールし、問題解決を図るスキルのことです。ポイントは怒らないことではなく、怒る必要のあることは上手に怒り、怒る必要のないことは怒らなくて済む。その線引きが引けるようになります。

アンガーマネジメントは1970年代に米国で生まれました。当時は、DV（家庭内暴力）や軽犯罪者の矯正プログラムのために作成されましたが、現在では子供の教育やアスリートのメンタルトレーニングなどさまざまな研修で取り入れられています。

日本では、働き方改革に伴って、パワハラやセクハラを防止し、労働者にとって働きやすい環境を整えようと、社会全体が力を入れ始めたことが導入のきっかけといわれています。

アンガーマネジメントを身に付けるメリットとして①怒りを感じる頻度が減り、ストレスが減少する②怒りに任せた衝動的な行動を抑え、パワハラ防止につながる③怒りで心が乱されず、仕事に集中でき生産性が上がる④怒る以外の適切な解決策を身に付けることで、人間関係を良好に保てるなどがあげられます。

アンガーマネジメントは技術的なもので、怒りのメカニズムを認識し、スキルを学び練習すれば身に付くことができます。より良い人間関係や職場環境構築のためにも、この機会に学んでみてはいかがでしょうか。



生物多様性

環境の「強靭さ」を表す

琉球銀行総合企画部サステナビリティ推進室調査役
渡久地 政彦

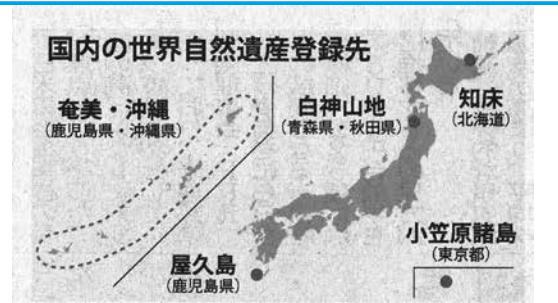
国内には現在、国連教育科学文化機関（ユネスコ）認定の世界遺産が25件あり、そのうち5件が自然遺産となっています。その中で最も新しい登録が「奄美大島、徳之島、沖縄島北部および西表島（鹿児島・沖縄）」です。

同地域は、ヤンバルクイナやイリオモテヤマネコなどの絶滅危惧種約95種が生息し、生物多様性を守るために重要な地域であることが評価の対象となりました。地球上には多種多様な生物が生息し「環境=生命」の循環を形作っています。生物種の多様さは環境の強靭さのバロメータで、崩れれば私たちの生活も脅かすことにつながります。

生物多様性を脅かす原因として①開発などの人間活動②自然に対する働きかけの縮小③人間が持ち込んだ外来種や科学物質④地球環境の変化の四つが挙げられます。

この四つの原因は、それぞれ関連しています。例えば移動能力が高い生き物は、適した気候の場所に移動することで気候変動に対応することができる可能性があります。ただ、開発で適した気候の場所が残ってなければ、生き延びることはできません。また開発によって森林の光環境が変化した結果、外来生物が侵入する可能性もあります。

現在、県内各地でサステナビリティー（持続可能性）なツアーが行われています。国頭村では二酸化炭素排出ゼロの小型電気バス「山原黄金号」を活用した「やんばるの森ネーチャーガイドツアー」が、西表島では旅行客も気軽に参加できる毎月のビーチクリーン活動もあります。多様な生き物が息づく、やんばるや西表島の森へ出かけてみませんか。





ローカルベンチマーク

企業「見える化」ツール

琉球銀行 法人事業部 主任
新田 耕太郎

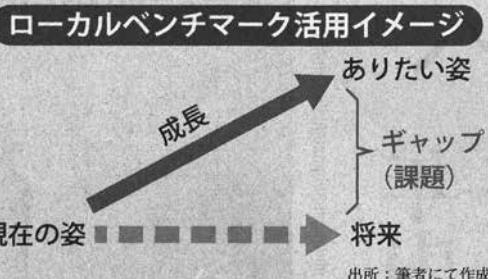
企業経営者の皆さまは、取引金融機関の支店長や担当者と面談した際、金融機関が自社のビジネスモデルやニーズ・課題を正確に把握できていないと感じることはないでしょうか。また逆に、金融機関から自社の課題等に関する質問をされた際に、スムーズに回答できなかったといったご経験はありませんか。

自社の経営状態を把握したり、金融機関が取引企業の経営状態を把握したりするツールとして「ローカルベンチマーク（ロカベン）」の活用が有効です。

ロカベンは経済産業省が提供している、企業の経営、財務状態の把握、いわゆる企業の健康診断を行うツールです。企業の経営者と金融機関がコミュニケーションを行いながらロカベンを活用し、企業経営の現状や課題を相互に理解することで、個別企業の経営改善や地域活性化を図ることを目的としています。

経済産業省の発表によると、ロカベンは全国の金融機関において9割超の認知度があります。また、ロカベンを活用した企業の約6割が「自社の経営分析・把握ができた」との回答をしており、認知度も高まりつつあります。

ロカベンを活用する1番の目的は、分析・把握した結果を踏まえ自社の強み・弱みを「見える化」しながら、自社の将来像「ありたい姿」を描き、現在の姿とのギャップ（課題）を明確化することです。課題が明確になれば、自社が取り組むべきこともおのずと決まってくるでしょう。ロカベンを活用することで、各企業の「ありたい姿」に向けて、取引金融機関から適切・効果的な支援を受ける可能性が高まることが期待できます。



株式市場の再編

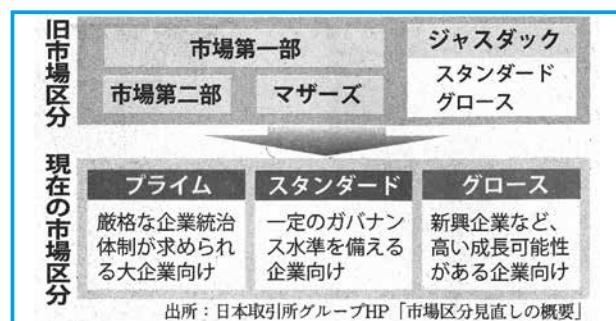
企業価値上げ投資促す
琉球銀行 証券国際部
宇座 大貴

2022年4月、東京証券取引所の市場区分が大きく変わり「プライム」「スタンダード」「グロース」の3市場に再編されました。従来の市場区分は、13年に東証と大阪証券取引所が株式市場を統合した際に、市場構造を維持したことに由来していました。

しかし、二つの課題がありました。一つは、各市場区分のコンセプトが曖昧で、多くの投資家にとっての利便性が低く、2部やマザーズ、ジャスダックの位置づけが重複していること。二つ目は、上場会社の持続的な企業価値向上の動機付けが十分にできていないことです。例えば、新規上場基準に対し上場廃止基準が大幅に低い水準でした。

今回の市場再編で、プライム市場では流通株式時価総額100億円以上、株主数800人以上の基準が設定されました。コンセプトも「多くの機関投資家の投資対象となりうる規模の時価総額や、より高いガバナンス水準を備え、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上にコミットする企業向けの市場」と明確化されました。狙い通りに課題が解決できれば、日本企業の価値を向上させ海外投資マネーの誘致が期待できます。

再編から5ヶ月経過し、プライム市場では時価総額の減少や海外投資家の「売り越し」が観測されるなど、市場再編による明確な効果は現れていません。上場を維持するだけではなく、実際に企業が企業価値を高めるような取り組みを継続すること、そしてそれを促すような仕組みを作ることが日本企業と東証に求められているのかもしれません。



経営情報

提供：太陽グラントソントン税理士法人



Grant Thornton

An instinct for growth™

経理部門の基本有用情報

太陽グラントソントン

今月の経理情報 2022年8月

今回のテーマ

経済財政運営と改革の基本方針2022について

岸田政権以降、「新しい資本主義」というフレーズを耳にします。「経済財政運営と改革の基本方針2022」(令和4年6月7日閣議決定以下、「基本方針」という。)に新しい資本主義の考え方や重点分野が記載されており、今後の我が国の重点政策や技術トレンドが見えてきます。

「新しい資本主義」とは

基本方針において、新しい資本主義とは、資本主義のバージョンアップであるとの説明が付されており、具体的には、下記①～③を実現する思想とされています。

- ①「市場も国家も」、「官も民も」によって課題を解決すること
- ②課題解決を通じて新たな市場を創る、すなわち社会的課題解決と経済成長の二兎を実現すること
- ③国民の暮らしを改善し、課題解決を通じて一人ひとりの国民の持続的な幸福を実現すること

4つの重点投資分野について

基本方針では、創造性を発揮して付加価値を生み出していく原動力は「人」であり、自律的な経済成長の実現には、民間投資を喚起して生産性を向上することで収益・所得を大きく増やすだけでなく、「人への投資」を拡大することにより、次なる成長の機会を生み出すことが不可欠との認識のもとに、次の4つを重点投資分野と定めています。

- ①人への投資
- ②科学技術・イノベーションへの投資
- ③スタートアップへの投資
- ④GX(グリーン・トランسفォーメーション)及びDX(デジタル・トランسفォーメーション)への投資

基本方針と同時に「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画」(令和4年6月7日閣議決定、以下、「実行計画」という。)が公表されています。実行計画では、重点分野別に詳細な計画を定めていますが、その中からいくつか興味深い記載を下記に紹介致します。

- ・デジタル人材育成・専門能力蓄積、そのために大学等でのAI・データサイエンス・数理等の教育を強化する。
- ・量子技術の実証環境を整備し、量子コンピュータや量子暗号通信について、エネルギー、金融、創薬・医療、材料化学、航空、モビリティ等、幅広い分野で、実証を進め、产业化に向けた拠点整備を進める。
- ・ディープラーニングを重要分野として位置付け、企業による具体的ニーズを念頭に置き、その実装・開発を推進する。
- ・遺伝子技術によるバイオもの作り分野に重点投資する。
- ・次世代通信インフラ6Gについては、2030年頃の導入を見据えて、ネットワークから端末まで全てに光通信技術を活用することで、現在の100倍の通信速度と100分の1の超低消費電力を実現する技術を5年程度で確立する。

お見逃しなく！

実行計画は内閣官房(https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/atarashii_sihonsyugi/index.html)のホームページで全文を確認することができます。実行計画には、今後の政府の重点投資分野や法規制等の各種制度見直しの方向性だけでなく、最近の技術トレンドが示されています。是非一読下さい。

沖 縄

8.1 東京商工リサーチ沖縄支店が発表した2021年度の県内企業売上高ランキング(金融業除く)によると、上位100社の売上高合計は、前年比6.3%減の2兆1,040億4,300万円で、2年連続で前年を下回った。売上高100億円超の企業は前年度比同数の71社となり、増収は24社増の56社、減収は22社減の44社だった。

8.2 韓国の格安航空(LCC)のティーウェイ航空は、ソウルと那覇を結ぶ定期便を再開した。那覇空港国際線の定期便は2020年3月以来2年4ヶ月ぶりの運航となつたが、新型コロナウイルス感染拡大により16日以降は運休となっている。

8.2 沖縄科学技術大学院大学(OIST)は、世界初となるアオリイカの養殖技術を開発した。イカの養殖は困難とされてきたが、ふ化から養殖までを水槽内で何世代にもわたって続ける「累代飼育」に成功した。安価で効率的な養殖が可能となり、技術の商業化が期待される。

8.5 東京商工リサーチ沖縄支店によると、2021年度の県内建築単価は、全用途の1平方㍍当たり単価が25万2,600円で前年度比6.7%減と11年ぶりに下落した。新型コロナウイルス禍で産業用の需要減少が影響した。住宅は同3.6%増の22万6,100円で、9年連続の上昇となつた。

8.9 日本トランസオーシャン航空は、バス、ゆいレール、船で楽しむ沖縄観光マップを作成した。二次交通利用を促し、レンタカー不足の解消を図るほか、公共交通機関の利用増加による沖縄の自然環境保護や、交通渋滞緩和などが期待される。

8.18 県酒造組合によると、2022年1～6月の泡盛総出荷量(アルコール度数30度換算)が、前期比3.0%増となり、ピーク時の04年以降、初めて前期比を上回った。県内、県外、海外の出荷先別を合計した総出荷量としては18年ぶりの増加となつた。

全国・海外

8.1 中央最低賃金審議会は、2022年度最低賃金を全国平均で時給961円とする目安をまとめた。現在の平均額から31円の引き上げで、02年度に現在の方式になってから最大の増加幅となった。物価高騰を背景に、引き上げ率は3.3%となった。新しい金額は10月ごろ適用される見通し。

8.2 通信アプリ大手LINEは、自治体の公式アカウントで住民が住民票の写しや転出届、納税証明書、印鑑登録証明書などの郵送を申請できる自治体向けサービスを始めると発表した。マイナンバーカードを使って本人確認を行い、住民の利便性向上や行政窓口の混雑緩和につげる狙い。

8.2 財務省は、鉄道開業150年を記念した千円銀貨幣を発行すると発表した。表面は走行中の列車を描いた錦絵「高縄鉄道之図」の一部を基にした図柄をあしらい、裏面には開業当時の駅舎を復元した「旧新橋停車場」を基にデザインした。販売価格は1万2,300円で7万枚発行される。

8.5 農林水産省が発表した2022年上半期(1～6月)の農林水産物・食品の輸出額は、前年同期比13.1%増の6,525億円となり、上半期として過去最高だった。新型コロナウイルス禍で落ち込んでいた外食需要が回復し米国向けなどが好調だったほか、円安の進行も寄与した。

8.17 財務省が発表した7月の貿易統計(速報、通関ベース)によると、輸出から輸入を差し引いた貿易収支は1兆4,368億円の赤字となった。赤字は12ヶ月連続で、7月として過去最大だった。資源高や円安が影響した。

8.19 総務省が発表した7月の全国消費者物価指数は、前年同月比2.4%上昇の102.2と11ヶ月連続で上昇した。ロシアのウクライナ侵攻を受けて原油や穀物の価格が高騰したほか、円安によりエネルギー・食料などが値上がりした。

沖縄県内の主要経済指標

	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全 店)	家電大型 専門店 販売額	新車販売 台 数	中古自動車 販売台数	公共工事請負額		建築着工床面積	
暦年	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2019	▲ 4.8	▲ 0.1	1.4	4.3	▲ 0.7	3.6	326,534	▲ 5.8	1,849	▲ 19.4
2020	▲ 35.1	0.4	2.5	5.6	▲ 17.1	0.5	308,119	▲ 5.6	1,555	▲ 15.9
2021	▲ 7.9	▲ 1.7	▲ 0.2	21.2	▲ 11.0	1.7	344,381	11.8	1,571	1.0
2021 6	▲ 34.3	▲ 5.7	▲ 3.8	▲ 13.3	▲ 11.7	2.3	21,608	▲ 27.9	122	▲ 24.5
7	▲ 20.8	▲ 1.2	0.7	21.6	▲ 9.1	▲ 15.0	44,439	▲ 0.3	129	2.2
8	▲ 13.7	▲ 4.1	▲ 3.8	13.8	▲ 10.5	1.5	35,562	17.2	90	▲ 38.9
9	▲ 1.2	▲ 0.4	0.5	29.9	▲ 38.7	7.4	53,814	64.3	89	▲ 10.1
10	▲ 3.0	1.9	2.9	34.2	▲ 29.3	▲ 8.2	26,721	▲ 0.6	200	42.8
11	▲ 0.5	▲ 1.9	▲ 0.9	18.5	▲ 15.6	▲ 3.3	21,981	21.6	127	12.7
12	▲ 7.2	▲ 1.9	▲ 0.9	16.6	▲ 10.1	▲ 9.3	17,959	1.6	136	62.5
2022 1	▲ 16.3	0.3	1.2	16.6	▲ 22.7	▲ 5.3	26,815	64.1	123	1.3
2	▲ 9.3	▲ 1.1	▲ 0.3	24.9	▲ 24.4	▲ 10.3	24,548	58.9	82	▲ 32.0
3	3.3	1.5	1.9	▲ 1.7	▲ 18.2	▲ 10.7	54,839	60.8	156	▲ 22.9
4	4.6	0.5	0.5	5.4	9.9	▲ 14.3	16,593	▲ 41.5	130	▲ 11.2
5	9.2	▲ 1.4	▲ 1.6	▲ 14.5	▲ 30.8	▲ 5.3	13,732	▲ 51.1	135	54.9
6	42.1	1.8	2.3	12.6	4.7	▲ 13.0	50,231	132.5	125	2.5
7	12.0	2.9	3.6	—	7.6	▲ 4.8	26,405	▲ 40.6	—	—
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	中古 自販協	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 2022年4月より家電卸売販売額から家電大型専門店販売額へと更改した。

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、中古自動車販売台数は沖縄県中古自動車販売協会。

	新設住宅着工戸数		建 設 受注額	セメント 出荷数量	生 コン 出荷数量	鋼 材 売上高	木 材 売上高	觀光施設 入場者数	ゴルフ場 入場者数	広告 収入
暦年	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
2019	15,098	▲ 10.1	▲ 11.9	0.3	1.4	4.0	7.2	▲ 3.4	▲ 0.9	▲ 2.2
2020	10,703	▲ 29.1	3.1	▲ 10.0	▲ 10.4	▲ 11.6	▲ 11.6	▲ 72.1	▲ 7.6	▲ 15.7
2021	9,668	▲ 9.7	▲ 10.6	▲ 15.4	▲ 21.1	▲ 5.7	3.1	▲ 42.1	8.6	3.9
2021 6	761	▲ 0.8	▲ 5.6	▲ 33.6	▲ 36.8	▲ 11.7	0.8	▲ 70.7	▲ 1.6	9.4
7	901	0.6	▲ 3.6	▲ 33.2	▲ 27.6	▲ 17.1	2.0	▲ 70.6	▲ 13.6	8.5
8	646	▲ 34.9	8.9	▲ 19.5	▲ 21.0	▲ 10.0	6.2	▲ 35.3	27.8	7.5
9	713	18.8	127.4	▲ 7.0	▲ 10.2	13.8	16.4	▲ 80.4	14.6	0.2
10	897	▲ 8.9	▲ 58.6	▲ 22.3	▲ 25.3	▲ 1.9	18.7	▲ 19.3	5.8	9.3
11	882	2.3	▲ 26.9	▲ 9.4	▲ 23.2	10.3	7.8	▲ 13.4	▲ 0.2	4.3
12	931	15.8	32.4	4.4	▲ 11.5	17.9	6.8	25.5	13.1	2.4
2022 1	633	▲ 20.7	▲ 44.9	▲ 9.3	▲ 21.1	21.3	14.3	9.0	▲ 3.0	▲ 3.3
2	542	▲ 27.8	P126.5	▲ 2.1	▲ 10.3	28.6	16.0	▲ 6.9	▲ 1.9	▲ 6.9
3	752	2.9	P35.1	▲ 0.7	▲ 3.5	24.1	13.9	16.1	0.2	▲ 5.3
4	980	7.3	P751.9	▲ 0.5	24.3	21.9	17.3	43.1	17.8	▲ 0.2
5	835	12.2	P39.7	▲ 14.8	▲ 6.7	17.5	8.2	100.3	▲ 6.5	7.0
6	746	▲ 2.0	P▲38.9	23.6	26.0	6.0	9.9	697.7	26.8	▲ 1.2
7	—	—	P▲32.9	9.5	12.4	18.4	11.3	537.1	31.5	—
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ							

注) 建設受注額は、2021年1月より調査先を18社から17社とした。

注) ゴルフ場入場者数は、2021年4月より調査先を8ゴルフ場から6ゴルフ場とした。

	入域観光客数		入域観光客数 のうち外国客		ホテル稼働率 (実数)		ホテル売上高 (前年比)		鉱工業生産指数 (季調値)	
暦年	千人	前年比	千人	前年比	市内	リゾート	市内	リゾート	2015年=100	前年比
2019	10,163.9	3.2	2,930.0	0.9	80.9	69.7	▲ 1.3	▲ 3.4	87.1	▲ 3.2
2020	3,736.6	▲ 63.2	256.9	▲ 91.2	31.7	31.6	▲ 65.2	▲ 58.8	76.0	12.9
2021	3,016.7	▲ 19.3	0.0	▲ 100.0	24.3	22.2	▲ 30.4	▲ 20.0	-	-
2021 6	162.9	13.0	0.0	0.0	15.0	11.3	3.9	78.4	68.2	▲ 7.9
7	250.4	▲ 9.7	0.0	0.0	22.2	20.4	▲ 30.4	▲ 25.5	68.5	▲ 9.8
8	288.2	42.1	0.0	0.0	21.1	21.9	▲ 25.4	17.2	65.7	▲ 10.5
9	204.9	▲ 10.0	0.0	0.0	17.5	18.8	▲ 32.0	▲ 37.5	69.2	▲ 0.8
10	299.0	▲ 12.4	0.0	0.0	27.4	27.9	▲ 21.9	▲ 38.7	77.0	6.0
11	368.0	▲ 3.4	0.0	0.0	41.7	35.6	▲ 4.9	▲ 30.4	74.7	0.1
12	423.5	29.8	0.0	0.0	50.5	42.0	45.6	20.5	84.6	12.0
2022 1	224.6	56.0	0.0	0.0	22.2	18.3	34.0	59.9	76.2	▲ 0.8
2	179.1	50.8	0.0	0.0	26.9	18.3	5.3	44.0	73.7	▲ 2.9
3	415.7	38.9	0.0	0.0	43.1	30.4	16.1	13.2	77.0	▲ 6.2
4	409.0	55.8	0.0	0.0	42.0	36.3	42.7	42.7	81.3	5.6
5	396.8	103.3	0.0	0.0	43.6	35.4	112.1	65.7	70.9	▲ 1.9
6	448.5	175.3	0.0	0.0	44.5	41.9	231.2	193.1	73.3	7.0
7	607.8	142.7	0.0	0.0	55.5	P50.1	203.8	P181.0	-	-
出所	県文化観光スポーツ部 観光政策課				りゅうぎん総合研究所調べ				県企画部統計課	

注) ホテルは、2021年11月より調査先が28ホテルから27ホテルとした。

注) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

注) 鉱工業生産指数の暦年値、前年比は原指標の増減率。2019年4月より2015年=100に改定された。

	企業倒産件数	負債総額		消費者物価指数	失業率 (季調値)	就業者数	有効求人倍率 (季調値)	新規求人 人数 (県内)	通関輸出	通関輸入
暦年	件	百万円	前年比	前年比	%	前年比	倍	前年比	百万円	百万円
2019	50	5,714	▲ 54.0	0.4	2.7	2.7	1.34	3.3	31,126	148,698
2020	34	3,640	▲ 36.3	▲ 0.3	3.3	0.1	0.90	▲ 27.2	30,063	120,799
2021	38	10,989	201.9	0.0	3.7	0.4	0.80	0.7	44,890	126,238
2021 6	2	337	▲ 31.2	0.5	3.7	0.0	0.88	2.5	1,823	7,891
7	1	154	▲ 82.1	▲ 0.1	4.5	▲ 0.7	0.84	4.9	1,327	11,308
8	0	0	▲ 100.0	▲ 0.1	3.6	0.4	0.79	13.6	1,720	23,380
9	1	26	▲ 69.0	0.0	3.2	0.6	0.80	24.8	1,966	7,481
10	3	434	20.6	0.3	2.4	1.0	0.80	9.7	4,299	14,005
11	1	320	267.8	0.6	3.4	0.7	0.81	8.9	5,492	11,252
12	4	1,803	1,948.9	0.7	3.8	1.9	0.82	28.8	2,126	12,528
2022 1	4	2,819	803.5	0.4	4.0	4.0	0.85	16.3	1,488	10,830
2	1	10	▲ 97.8	0.9	4.4	0.5	0.86	17.6	26,277	7,384
3	8	935	▲ 83.7	1.2	3.2	4.2	0.85	16.0	5,898	10,632
4	2	170	359.5	2.9	2.9	3.0	0.92	22.3	2,654	17,174
5	4	120	91.2	2.9	2.7	2.1	0.95	31.5	2,145	29,060
6	0	0	▲ 100.0	2.9	2.6	2.9	0.99	33.0	2,013	31,424
7	1	94	▲ 39.0	3.1	3.8	▲ 0.8	1.01	20.6	2,105	41,762
出所	東京商エリサーチ沖縄支店			県企画部統計課			沖縄労働局		沖縄地区税関	

注) 消費者物価指数は、2021年7月より2020年=100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2021年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

注) 有効求人倍率(季調値)と新規求人人数は、就業地ベース。

沖縄県内の金融統計

	銀行券 発行額	銀行券 還収額	銀行券 増減 (▲還収超)	貸出金利 (地銀3行)	手形交換高(金額は億円)				不渡実数 (金額)	不渡 発生率
年度	億円	億円	億円	%	千枚	前年比	金額	前年比	百万円	%
2019FY	2,658	4,076	▲ 1,415	1.465	189	▲ 5.9	3,381	▲ 6.0	5	0.002
2020FY	3,019	2,812	206	1.399	165	▲ 13.1	3,016	▲ 10.8	7	0.002
2021FY	2,825	2,906	▲ 80	1.356	150	▲ 9.0	2,720	▲ 9.8	106	0.039
2021 6	233	239	▲ 6	1.371	14	▲ 17.3	257	▲ 14.5	0	0.000
7	245	200	45	1.369	12	▲ 20.3	199	▲ 29.9	0	0.000
8	219	225	▲ 6	1.367	14	0.9	281	7.7	0	0.000
9	215	250	▲ 35	1.366	12	▲ 4.7	216	▲ 7.8	0	0.001
10	224	212	11	1.362	11	▲ 16.8	184	▲ 12.4	1	0.005
11	200	197	2	1.364	14	▲ 6.1	243	▲ 9.5	61	0.250
12	510	191	319	1.356	12	▲ 8.7	197	▲ 9.6	6	0.032
2022 1	107	393	▲ 286	1.357	12	3.5	223	4.8	16	0.072
2	195	239	▲ 43	1.355	11	▲ 7.6	209	▲ 3.4	14	0.068
3	231	296	▲ 64	1.352	12	▲ 21.2	219	▲ 26.6	4	0.020
4	307	202	104	1.352	11	▲ 22.2	194	▲ 22.8	2	0.010
5	145	289	▲ 143	1.345	13	5.7	256	5.7	0	0.000
6	233	256	▲ 23	1.342	13	▲ 8.4	216	▲ 15.8	0	0.000
7	-	-	-	-	11	▲ 10.3	161	▲ 18.9	7	0.044
出所	日本銀行那覇支店				那覇手形交換所					

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

注) 不渡発生率は、不渡実数(金額) ÷ 手形交換高(金額) × 100

	地銀3行預金量 (信託勘定含む末残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む末残)		県内金融機関 の預貯金残高 (末残)		沖縄振興開発 金融公庫融資量 (末残)		沖縄県信用保証協会 債務残高(末残)	
年度	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2019FY	49,931	2.6	39,293	1.8	50,358	2.5	8,641	0.6	1,225	1.9
2020FY	55,734	11.6	40,847	4.0	56,384	12.0	10,320	19.4	2,865	133.8
2021FY	58,037	4.1	41,033	0.5	58,716	4.1	10,428	1.0	3,005	4.9
2021 6	57,507	6.1	40,754	3.0	58,131	6.4	10,378	6.8	2,988	67.6
7	57,281	5.8	40,763	2.5	57,962	6.1	10,422	4.6	2,993	47.8
8	57,394	4.8	40,751	2.0	58,038	5.0	10,419	3.3	2,997	35.5
9	57,072	4.6	41,019	2.4	57,742	4.9	10,534	3.6	2,995	26.8
10	57,462	4.8	41,015	2.5	58,113	5.0	10,513	2.8	2,999	22.3
11	57,690	4.1	40,692	1.5	58,280	4.2	10,491	2.2	2,995	19.1
12	57,604	3.8	41,195	2.3	58,314	4.0	10,470	0.8	3,001	15.2
2022 1	57,616	4.2	40,793	1.2	58,275	4.2	10,456	0.8	3,002	12.1
2	57,626	3.6	40,798	0.4	58,247	3.5	10,444	0.6	3,000	10.3
3	58,037	4.1	41,033	0.5	58,716	4.1	10,428	1.0	3,005	4.9
4	59,647	4.5	40,678	▲ 0.1	60,284	4.5	10,480	1.5	2,985	0.9
5	59,517	3.9	40,922	0.4	60,183	3.9	10,449	1.2	2,981	0.0
6	60,067	4.5	40,933	0.4	60,769	4.5	10,425	0.4	2,973	▲ 0.5
7	60,255	5.2	40,988	0.6	-	-	-	-	-	-
出所	沖縄県銀行協会				日本銀行本店		沖縄振興開発金融 公庫		沖縄県信用保証協会	

注) 県内金融機関の預金残高は、19年2月分より日本銀行(本店)ホームページ上で公表している県内預金合計に遡及改訂した。

りゅうぎんポイントサービス

ポイント数に応じて
サービスいろいろ!



とくとく特典!

特典1 ATM時間外手数料が
無料! ※当行ATM
利用時のみ

特典2 当行本支店間の振込手数料が
無料! ※キャッシュカード
使用時のみ

ポイントサービスのお申し込みがまだの方は、店頭のポイントサービス申込み用紙にご記入のうえ、窓口または郵便にてお申し込みください。



ポイントサービスとは

日頃お世話になっているお客さまに対し、毎月のお取引内容をポイント化し、その合計ポイントに応じて手数料割引または金利優遇等の特典が受けられるサービスのことをいいます。

シルバーコース **50point** 以上 ゴールドコース **100point** 以上 エクセレントコース **200point** 以上

お問い合わせは右記のフリーコールまで **0120-19-8689** 受付／9:00-17:00
(銀行休業日は除きます)

特集レポートバックナンバー

■令和3年

4月 No.618 (RRI no.177)	経営トップに聞く An Entrepreneur	有限会社今帰仁酒造 Lei Hale Okinawa ゆめじん有限会社
5月 No.619 (RRI no.178)	経営トップに聞く An Entrepreneur	株式会社テンポンドジャパン 株式会社キモノバナ 農業生産法人 有限会社今帰仁きのこ園 特集1 一戸あたり工事予定額からみる今後の住宅市場 特集2 2020年度の沖縄県経済の動向
6月 No.620 (RRI no.179)	経営トップに聞く An Entrepreneur	株式会社ゆにてっくす 株式会社琉球びらす 株式会社大田製靴店
7月 No.621 (RRI no.180)	経営トップに聞く An Entrepreneur	マルユウグループ トゥルーバ沖縄株式会社 特集 沖縄県の主要経済指標
8月 No.622 (RRI no.181)	経営トップに聞く An Entrepreneur	沖縄ホンダ株式会社 合同会社 AICO 特集 沖縄県内における2021年プロ野球 春季キャンプの経済効果
9月 No.623 (RRI no.182)	経営トップに聞く An Entrepreneur	有限会社 ベットクラブオーシャン 有限会社 宮城珠算学校 特集 拡大するeスポーツと県内の現状について
10月 No.624 (RRI no.183)	経営トップに聞く An Entrepreneur	株式会社 那覇電工 琉球ブリッジ株式会社
11月 No.625 (RRI no.184)	経営トップに聞く 企業探訪	株式会社 大成ホーム 有限会社 セントラルハウジング
12月 No.626 (RRI no.185)	経営トップに聞く An Entrepreneur	沖縄明治乳業株式会社 合同会社ケアハート 特集 コロナ禍での労働市場の変化と働き方改革

■令和4年

1月 No.627 (RRI no.186)	経営トップに聞く An Entrepreneur	株式会社日本ユニテック 株式会社AlgaleX 特集1 沖縄のSociety5.0を考える 特集2 コロナ禍での県内在留外国人の動向 特集3 沖縄県経済2021年の回顧と2022年の展望
---------------------------	-----------------------------	---

2月 No.628 (RRI no.187)	経営トップに聞く 企業探訪	沖縄荷役サービス株式会社 たかえす置店 特集1 沖縄のSociety5.0を考える 特集2 2020年度および2021年度の入域観光客数の減少が県経済に及ぼす影響
3月 No.629 (RRI no.188)	経営トップに聞く 企業探訪	株式会社ブレンティー 株式会社オカベメンテ 特集 沖縄のSociety5.0を考える
4月 No.630 (RRI no.189)	経営トップに聞く An Entrepreneur	大永建設工業株式会社 株式会社サンダーバード 特集1 沖縄のSociety5.0を考える 特集2 コロナ禍における沖縄県経済の2020～21年度実績見込みと2022年度見通し
5月 No.631 (RRI no.190)	経営トップに聞く 企業探訪	株式会社宮昌工業 NPO法人おきなわグリーンネットワーク 特集1 沖縄のSociety5.0を考える 特集2 本土復帰後の沖縄振興の推移 特集3 2021年度の沖縄県経済の動向
6月 No.632 (RRI no.191)	経営トップに聞く An Entrepreneur	株式会社丸忠 株式会社FUNIT. 特集1 沖縄のSociety5.0を考える 特集2 沖縄県の人口・世帯の動向 特集3 断熱基準からみる沖縄のZEH要件について

7月 No.633 (RRI no.192)	経営トップに聞く 企業探訪	株式会社大央ハウジング 株式会社シード探索研究所 特集1 沖縄のSociety5.0を考える 特集2 沖縄の将来推計人口(2022年6月推計) 特集3 沖縄県の主要経済指標
8月 No.634 (RRI no.193)	経営トップに聞く An Entrepreneur	株式会社 新洋 特集1 沖縄のSociety5.0を考える 特集2 沖縄県内における2022年プロ野球 春季キャンプの経済効果 特集3 沖縄県の景気動向指数の作成と 景気の山、谷 特集4 沖縄県の世帯数の将来推計



新規分譲開始 地上14階・全45邸
モデルルーム公開中(Frescore Mansion Gallery) 国道58号
沿い



【物件概要】 ■物件名／フレスコア泊ゆいポート ■所在地／沖縄県那覇市泊3丁目6-9、6-10 ■交通／「泊高橋」バス停より徒歩5分（約360m）、「上之屋」バス停より徒歩6分（約440m） ■地域・地区／商業地域 ■地目／宅地 ■建ぺい率／80%（角地緩和）90% ■容積率400% ■構造・規模・用途／鉄筋コンクリート造、地下1階地上14階、共同住宅一部事務所 ■敷地面積／990.69 m²（建築確認面積） ■建築面積／325.67 m² ■延べ床面積／3,475.70 m² ■建築確認番号／第沖確R 03160008（令和4年4月7日付） ■総戸数／46戸 ■販売戸数45戸 ■販売価格／（税込）2,490万円～3,720万円 ■最多販売価格帯／（税込）2,600万円台（7戸） ■間取り／2LDK（19戸）・3LDK（26戸） ■専有面積／56.89 m²～74.37 m² ■バルコニー面積／8.46 m²～75.49 m² ■管理形態／区分所有者全員で管理組合を設立後、管理組合より管理受託会社へ委託。管理業務については（株）琉信ハウジングへ委託していただきます。（巡回方式） ■管理会社／（株）琉信ハウジング ■駐車区画台数／53区画（内機械式42機）55台、事務所用5区画、カーシェア1区画使用（月額）3,000円～17,000円、駐輪区画5区画（大型・中型・ミニバイク）（月額）800円～1,600円、自転車3区画（月額）500円 ■管理費／（月額）7,000円～9,150円 ■修繕積立金／（月額）4,330円～5,660円 ■修繕積立基金（引渡時一括）／259,800円～339,600円 ■前払い地代（入居時一括）／1,505,015円～1,967,445円 ■地代／（月額）9,900円～12,950円（初回の地代改定日は西暦2026年とし、以後5年ごと、公正証書に基づき改訂されます。） ■取り壊し積立金（月額）1,510円～1,970円 ■地代保証金／59,400円～77,700円（6ヶ月分を入居時に一括して借地管理受託者（株）琉信ハウジングに預託していただきます。） ■竣工予定／2023年2月末予定 ■入居予定2023年3月末予定 ■分譲後の権利形態／土地：一般定期借地権（敷地権）：地上権区分所有者全員の専有面積の割合による準共有、建物：専有面積については区分所有、共有持分は土地共有部分と同じ持分割合。 ■建物の譲渡／可（譲渡の場合、地上権設定者に書面での通知が必要） ■存続期間／西暦2021年4月1日から西暦2076年3月31日の55年間 ■事業主・売主／（株）琉信ハウジング 沖縄県知事（8）第2106号・沖縄県知事（3）第3732号 ■設計・監理／（株）チームアルファ ■施工／（株）リュウセキ建設 ■設計図書閲覧場所／「フレスコア泊ゆいポート」モデルルーム、竣工後は当マンション管理事務室 ■2022年5月6日現在

事業主・売主

株式会社 琉信ハウジング

直通:098-943-5465 那覇市松山2-3-12

モデルルーム営業時間 10:00-19:00

案内
ホームページ
▶▶▶



おススメ物件
多数掲載中！

琉信ハウジング

GO

（公財）日本賃貸住宅管理協会会員
沖縄県知事免許(8)第2106号

りゅうぎん調査

No.635 令和4年9月13日発行

発行所：株式会社りゅうぎん総合研究所

〒900-0025 那覇市壺川1丁目1番地9

りゅうぎん健保会館3階

TEL 835-4650 FAX 833-3732

印 刷：沖縄高速印刷株式会社



古紙配合率60%再生紙を使用しています